公示用

設 計 書

工事名称 豊平若者活動センター外部改修ほか工事

工事内容説明書

1. 工事名称 豊平若者活動センター外部改修ほか工事

2 . 施工場所 札幌市豊平区豊平8条11丁目

3 . 請負工事費

内訳 工事価格

消費税等相当額

4. 工期 契約に示す着手の日から 令和7年 11月 21日 まで

5. 工事内容 屋上防水改修、外壁改修、煙突改修、設備改修に伴う建築工事

共通費算定に用いる工期 T=5.6

工事費内訳

2

名	称	数	量	単位	金	頚	備	考
直接工事費								
建築工事			_					
			1	式				
計								
共通費								
共通仮設費			1					
			ı	式				
現場管理費			1					
			ı	式				
一般管理費等			1					
			ļ	式			契約保証費を含む	1
計								
工事価格			1					
			'	式				
消費税等相当額			1				消費税率 10 %	
				式			71392170-1-10 70	
工事費			1					
				式				

					点 姑 #				
称	数	量	単位	金	額	備	考		
		1							
			式						
	1		- 1			1			
	称	称 数	新 数 量 1	1	1	1	1		

豊平若者活動センター								
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
直接仮設			1					
			1	式				
防水改修			1					
			ı	式				
外壁改修			1					
				式				
建具改修			1					
				式				
内装改修			1					
				式				
煙突改修			1					
78.41 +++60.700				式				
発生材処理			1					
±1				式				
計								

豊平若者活動セ	 ンター		接仮設								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
墨出し	内部改修			4							
				1	式						
養生	屋上防水改修、外壁改	7修、内部改修									
	、床養生			1	式						
整理清掃後片付け	屋上防水改修、外壁改	7修、内部改修									
				1	式						
小部足場	枠組足場、単管一側足	≧場、安全手す			ΙV						
	ı)			1							
内部足場	階段足場、内部足場				式						
JAP /C W				1							
 災害防止	養生シート、金網式養生	±九 /小州戸ラット			式						
人名别正	食土/T、並納以食土	1年、 石 7月日本7日		1							
					式						
出入口養生				1							
				•	式						
反設作業室養生				1							
				'	式						
反設材運搬	枠組本足場、単管一側										
	上足場、脚立足場、金 養生シート、小幅ネット	注網式養生枠 、		1	式						
計	X27 11 3 14171										

平若者活動セン	<u> </u>		防水改修					撤去			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
字防水層撤去	屋上防水層 アスファルト防	水層 集積共									
					m²					立上り	
字防水層撤去	屋上防水層 シート防水原	鬙 集積共									
					m²						
字防水層撤去	屋上防水層 ウレタン塗膜	防水層 集積共									
					2						
	大型改修工事(全面改	修用)集積共			m²						
7ル撤去(アスベスト	人力 集積 飛散防止	吹付材共			m						
有)											
現模施工補正	普通作業員				m²						
通作業員)	日旭作来员										
.) 40	Ellタル面 厚さ20~30				回					非飛散性アスベス	}建材撤去費
7-入れ	thýhu 厚さ20~30	JMM .									
					m						
笠木撤去	W250(再利用なし) \$	 表積共									
					m						
水切撤去	集積共										
					m						
ドレンキャップ撤去	集積共										
					か所						
	防塵マスク、フィルター、防詰	隻メガネ、保護衣									
防塵処理費	、真空掃除機			1	式						
計					20						
						空田 小之					_

豊平若者活動セン	ンター	防水改修			改修			
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金額	備考		
改質アスファルトシート防	屋根露出防水絶縁工法 AS-T3							
水	平場							
コケをディファルトシートでも	屋根露出防水絶縁工法 AS-T3		m²					
水	立上り							
			m²					
常温改質アスファルト塗	立上り							
膜防水			2					
仮防水	ポリマーセメント系		m²					
١٨١٥١٨١	* // C/21/3/							
			m²			見積		
水洗い								
			m²					
シーリング	一般部 変成シリコーン系(MS-2)		m					
	15 x 10							
			m					
シーリング	一般部 変成シリコーン系(MS-2)							
	20 × 10							
シーリング	一般部 変成シリコーン系(MS-2)		m					
, ,,,	30 × 10							
	オーハ゛ーフ゛リッシ゛		m					
既製別ミ笠木(シルバ	一般部 厚2.0mm 幅275mm							
-)								
既製別ミ笠木フーナー(コーナー部 厚2.0mm 幅275mm		m					
ΣΝ, -)	L型 500mm+500mm							
,			か所					
捨て笠木	亜鉛メッキ鋼板 t1.6							
						日佳		
既製アルミッヒヒワイシルバ	一般部 厚1.2mm以上 幅40mm		m			見積		
-)	MAIN IN THE INTERNAL INCOME.							
			m					
既製アルミ水切(シルバ	一般部 厚1.2mm以上 幅50mm							
-)			m					
改修用ルーフドレン	ドレンキャップ,ドレン下地補修含む		- 111					
-X1273W 71 71	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							
			か所					
既設ドレン洗浄	ト・レン金物から第1雨水枡まで							
	6か所 基本料金含む		1 式					
計	**************************************		10					

豊平若者活動センター 外壁改修								撤去				
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
既存塗膜除去	塗膜剥離剤工法 環	景境対応型										
					m²					モルタル面		
既存塗膜除去	塗膜剥離剤工法 環	景境対応型								СИУИЩ		
					m²					ALC面		
壁タイル撤去	下地もルタル(アスペスト含	3有)共 集積共								леод		
					m²							
カッター入れ	Ellタル面 厚さ20~	- 30mm			111							
					_							
シーリング 撤去	大型改修工事(全面	可改修用)集積共			m							
	W200×H150程度				m							
	集積共											
_{ダラップ} とりこわ					か所							
<i>b</i>				1								
非飛散性アスベスト処	防塵マスク、フィルター、	防護メガネ 保護衣			式							
理防塵処理費	、真空掃除機			1								
計					式							
HI												
											_	
											-	

豊平若者活動セ	ンター		外壁改修					改修			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
根切り	人力土工										
	-										
	-				m3						
埋戻し	人力土工	-									
	-				m3						
 小規模施工補正	普通作業員				1113						
(普通作業員)	日旭作来员										
(,					回						
	D-5- 透湿弾性 3	ふっ素									
塗り	下地調整セメント系 C-	-2									
					m²						
復層塗材 E	ALCハ° ネル面 ローラー	ふっ素									
	下地調整 C-1				m²						
基礎樹脂モルタル塗り	藩涂りが				m						
至陇街相 (11/11)至 7	厚1~2mm(プレミックスタ	パプ)こて									
	水洗い含む	17 / 4 4			m²						
施工数量調査	ALC面·仕上塗材改修	多									
(外壁改修)											
					m²						
施工数量調査	タイル・モルタル塗替改修										
(外壁改修)					,						
大工物目知本	h / II T II h II i i i i i i i i i i i i i i i i				m²					₹ルタル下地面	
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・ モルタル塗替改修										
(外至以修)					m²					タイル面	
シーリンク゛	一般部 変成シリコーンタ	系(MS-2)								7 17/104	
	5 × 5/2	,									
					m						
シーリング	一般部 変成シリコーンタ	系(MS-2)									
	10 × 10/2										
					m						
シーリング	一般部 変成シリコーンタ	系(MS-2)									
	15 × 10										
シーリンク゛		(פון מ			m						
9-979	一般部 ポリウレタン系(10×10	(PU-2)									
	10 × 10				m						
シーリング	一般部 ポリウレタン系((PU-2)									
	30 × 10	•									
					m						
耐候性塗料塗り(D											
P)(改修用)	錆止め工程A種 2回	回塗り									
h=1° /+* => ==!.	下地調整RB				m²						
タラップ (梯子型)	ステンルス製 W400 縦様 25 様様 2	22									
	縦桟 25 横桟 2 あと施工アンカー	22			m						
タラップ安全ガード	のこ旭上アノルー L=3000程度 W=700)			111						
取外し、再取付	= 55551±132 11=100										
					か所						
SUS製 フート ゙新設	SUS304 厚0.8mm 2	250 × 300mm	1								
	防虫網付き										
					か所						
SUS製フード	SUS304 200 x 250mi	m				-	-				-
防虫網 撤去新設											
					か所						
プレート	50 × 80										
取外し、再取付			1		1 1			1		1	

豊平若者活動センター 外壁改修								改修				
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
° レート	90 × 140											
取外し、再取付												
' ν−ト	200 × 200				か所							
ν-r 取外し、再取付	200 x 200											
					か所							
プレート	300 × 600											
取外し、再取付												
ひび割れ部Uカットシー	FII.夕II.而				か所							
l材充填	CW/WIEI											
					m							
	自動式低圧球	注入工法										
λ	モルタル面											
欠損部充填	Ell/タル面 100×100程	陰			m							
	100 X 100/13	=1×										
					か所							
欠損部充填	モルタル面 100×200程	度										
					か所							
欠損部充填	モルタル面 100×500程	:度			ואינו							
V(3)CHP) 0-3C												
					か所							
欠損部充填	モルタル 面 100×1000	程度										
					か所							
ひび割れ部Uカットシー	ALCパ 礼面				73.171							
材充填												
					m							
欠損部充填	ALC面 100	× 100程度										
					か所					見積		
欠損部充填	ALC面 100	× 200程度			13 111					元頃		
					か所					見積		
欠損部充填	ALC面 100	× 500程度										
					か所					見積		
浮き部注入口付か	全面球。抄樹脂注入工				13 171					- JIR		
カーヒ゜ンニンク゛	モルタル面 一般部分											
/					m²							
外装壁タイル張り	密着張り 類 施ゆう											
	型 施ゆう 二丁掛 平 227×60	下地刊別含む			m²							
小規模施工補正	タイルエ											
(タイル工)												
h= . ¬° ₩ + 14 × 4 × 4	100 10-70-				回							
タラップ撤去後補修	100×100程度 鉄部Iポキシ樹脂塗布,	国用心 儿出										
	樹脂モルタル(プレミックスタイン				か所							
	防塵マスク(電動ファン付											
理防塵処理費	護メガネ、保護衣、真	空掃除機		1								
±⊥					式							
計												

豊平若者活動セ	ンター	建具改修	<u> </u>				撤去			
名 称	摘	要 数	量	単位	単	価	金	額	備	考
綱製戸撤去	両開き戸 集積共									
				m²					SD-4	
鋼製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共									
				m²					SD-5	
ゔ゙゙ヺス撤去	集積共									
				m²						
んプース撤去	集積共									
				m²						
	普通作業員			m						
普通作業員)										
/-リング 撤去	集積共			回						
៸−リンク ゙撤去	集積共			m						
*** 1BV CA										
計				m						
пІ										

豊平若者活	動セ	ンター		建具改修					改修			
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
SD-4		両開き 1700×2700										
		が 刊付き 付属金物語	含む			か所					見積	
 点検口		スチール製 1000×1500)			75.771					元付	
		枠共										
TD 4						か所					見積	
TB-1		ハニカムホ・ート・ t=40 抗菌メラミン化粧合板										
		プース・扉・ステンルス巾木も	 			か所						
TB-2		ለ二 カ ムボ−ト゚ t=40										
		抗菌メラミン化粧合板	_			4,55						
網入磨き板が	h* 57	プース・扉・ステンレス巾木 打厚さ6.8 特寸 2.18n				か所						
	,		帯共									
						m²						
小規模施工	補正	ガラス工										
(ガラス工)						回						
D P 塗り		鋼製建具面 1級										
		錆止め工程A種 2回	塗り									
-		素地ごしらえ				m²						
DP塗り		鋼製建具面 1級 錆止め工程A種 2回	涂 1									
		下地調整RB	111			m²						
シーリンク゛		一般部 変成シリコーン系	(MS-2)									
		10 × 10										
シーリング		一般部 変成シリコーン系	(MQ-2)			m						
7-977		15×10	: (W3-2)									
						m						
ガラスとめ(シー	ーリング゛)											
		SR-1				m						
計												
									1		1	
				1							1	

豊平若者活動セ	ンター		内装改修	:				撤去			
名 称	摘		数	量	単位	———— 単 fi	西	 金	額	 備	——— 考
【床】											
L* - II F + 5 / II + 56 +	T/0 A + 每年4										
ピニル床タイル撤去	石綿含有 集積共										
					m²						
ビニル床シート撤去	石綿含有 集積共										
					m²						
ルタン塗床撤去					m						
					m²						
床外加撤去	下地モルタル(アスペスト含有)共 集積共									
					m²						
コンクリート撤去	鉄筋切断共 人力	集積共									
断熱材撤去	FP板・発泡が分等				m3						
回点でいまる											
					m²						
カッター入れ	モルタル面 厚さ20~30m	mm									
					m						
【壁】											
CB撤去	人力 集積共										
CDI取 区	人// 未慎共										
					m3						
壁タイル撤去	下地モルタル(アスペスト含有)共 集積共									
					m²						
Ellタル撤去(アスペスト	人力 集積 飛散防止吃	次付材共									
含有)											
暗 今七 +゜ l゜	7-15 to 60 dd	F (# ++			m²						
壁合板・ボード 撤去	一重張り 一般 第	長積共									
JBA 24					m²					化粧合板	
壁合板・ボード	一重張り 一般 身	長積共									
撤去					m²					PB	
壁下地撤去	集積共				- 111					гр	
1.* _0.1= 1.4+L-1-					m²					LGS	
じぶ幅木撤去	石綿含有 集積共										
					m						
【天井】											
	集積共										
					m²						
天井合板・ボード 物土	一重張り 一般										
撤去	集積共				m²					PB	
天井合板・ボード	一重張り 一般										
撤去	集積共										
					m²					吸音板	

豊平若者活動セ	ンター		内装改修					撤去			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
	一重張り 石綿含有										
撤去	集積共				m²					PB、吸音板	
天井下地撤去	集積共									212	
					m²						
塩ビ廻縁撤去	集積共										
木製廻り縁撤去	集積共				m						
断熱材撤去	グラスウール 集積共				m						
					2						
非飛散性アスベスト処	防塵マスク、フィルター、防護	メガネ、保護衣			m²						
理防塵処理費	、真空掃除機			1							
 計					式						
											

豊平若者活動セ	<u></u> ンター		内装改修					改修			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	 備	考
【床】											
. [*] ニル床タイル	■キュッぱシ゚ンハッレ゚=	広 カノ / T									
ル/木ダ1ル	厚さ2 コンポジションビニ 一般床 -	ル/木グ1ルベ!									
	19X //K -				m²						
	無 地 厚さ2.5 複層	ピニル床シートFS									
	一般床 熱溶接工法	-									
					m²						
かタン塗床	t2.0 平滑										
					m²						
末タイル張り	吸水率 類 50×50										
	無釉(下地モルタル含む)									
					m²						
小規模施工補正 	タイルエ										
(タイル工)											
和風便器撤去後床	普通フグリート 鉄鉾マグ	加-1-11 異形基細									
n風使品脈ム後外 穴塞ぎ	、型枠、金属拡張が			1							
					式						
【壁】											
'L 사다 L /Lu LC JE 12	P\$ 10 0 7873 4 7	->+									
化粧が加板張り	壁 t6.0 アルミジョイナーコ	_ì☆									
					m²						
耐水石膏ボード張	厚12.5 不燃										
り(GB-S)	鋼製、木、ポード下地	突付け									
					m²						
耐水合板	特類 t12										
					m²						
天然木化粧合板	t4				1111						
					m²						
壁	厚12.5 不燃										
せっこうボード	鋼製、木、ポード下地	突付け			2						
張り(GB-R) 壁モルタル塗り	 金ごて				m²						
壁が火変り	内壁	厚20									
	132	7,5-20			m²						
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし	@300									
성무사 및 연구ル					m²						
軽量鉄骨壁下地	100形 下地張りなし	@300									
					m²						
軽量鉄骨壁	65形 扉等三方補強										
開口部補強	1000×1500mm程度										
					か所				;	消火ポンプ室	
軽量鉄骨壁	65形 扉等三方補強										
荆口部補強	600×1200mm程度				4155					DC EX	
壁見切縁	塩化ピニル製				か所				F	PS壁	
土九切称	- 血 しし										
					m						
ビニル幅木	高さ100										
					m						

豊平若者活動セ	 ンター	内装改修					改修			
名 称	摘要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
ライニング 壁巾木	厚2.0mm SUS304 HL仕上げ									
	高さ100mm -									
- /-> 6* 05 30				m						
ライニング 壁天端	厚2.0mm SUS304 HL仕上げ 幅150mm未満 -									
				m						
シーリンク・	一般部 変成シリコーン系(MS-2)									
	5×5									
				m						
シーリンク゛	一般部 変成シリコーン系(MS-2)									
	10 × 10									
【天井】				m						
天井	2級 ボード面 -									
ビニルクロス張り	クロスJISA6921アルデヒド基準値適合									
	接着剤別庁 じょ 非含有 普及品(2)		m²						
天井 せっこうボード	厚 9.5 準不燃 継目処理									
せりとうが - F 張り(GB-R)				m²						
天井 ロックウール	フラット内部用 厚 9 不燃									
化粧吸音板張り	下張GB-R 厚 9.5共									
(DR)				m²						
天井 ロックウール	フラット内部用 厚12 不燃									
化粧吸音板張り	下張GB-R 厚 9.5共									
(DR)	40取/日本) > lang 4 5 m + 注			m²						
羟里 妖官大开卜地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 インサート別途									
	で 1000 で 100 Mg			m²						
軽量鉄骨天井	19形(屋内) 450× 450mm程度									
開口部補強	ボード等切込み共									
				か所						
天井廻縁	塩化ピニル製									
				m						
廻り縁	30 × 30			- 111						
~										
				m						
EP塗り	木部 素地A種									
(糸幅300mm以下)										
た゜ニュム・川以に去れ+ +	T# 6000mm 041mp			m						
グラスウール断熱材	天井 厚200mm 24kg品									
				m²						
【その他】										
1 #41 - 1										
木製砂 東取付	1300 × 500 × 2000									
取外し、再取付				か所						
アルミハ゜ーテーション	500 × 2300			13 171						
取外し、再取付										
				か所						
紙巻き器										
取外し、再取付										
(再应加 +				か所						
便座クリーナー 取外し、再取付										
II XP CT V V										

豊平若者活動セン	ンター		内装改修					改修			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
	140 × 60										
取外し、再取付					か所						
	600 × 1200										
取外し、再取付					か所						
	450 × 450				77.77						
取外し、再取付					か所						
計					3111						
			1		1 1			Ĺ			

豊平若者活動セン	ンター		煙突改修	:				撤去			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
煙突アスベスト除去	単管足場、作業床、腰	壁、屋根、防									
反設	炎シート 運搬費含む			1							
					式						
	エアシャワー、負圧除じん機										
費	エアレススプ レイヤー、高圧洗え	争機、貨機材		1	-+						
 保護用品	運搬費 保護マスク(電動ファン付)	(空=催フ7カーフ			式						
休暖用吅	「Aルター、保護衣、負圧集			1							
	、高分子吸水ポリマー	(主 水/ 1) / // /		•	式						
セキュリティーソ゛ーン											
					組					見積	
上、下部床養生	0.15mmポリシート2j	Ē									
					m²					見積	
	0.1mmポリシート1重										
養生					m²					見積	
仮設煙道塞ぎ	コンパ [°] ネ t12									JUIR	
从以注定至こ	撤去、集積共										
					m²						
煙突断熱材撤去	ከ ተ	l									
					m²					見積	
飛散抑制剤塗布	314 H = 13m										
					2						
武井() 上文()全大	444 11 40				m²					見積	
飛散防止剤塗布	414 H = 13m										
					m²					見積	
飛散防止剤塗布	養生シート									761R	
710132773 == 713 == 11-											
					m²					見積	
廃石綿袋詰	廃石綿専用袋 2重梱	包 小運搬込									
	み										
					m²					見積	
発石綿一時保管場 **	יל אוס [*]										
听				1							
作業提内占烯機器	マイクロメーター、 スモークテスター - 4	ıA			式						
ロスペンパンペースでは				1							
				'	式						
事前・事後清掃											
					m²					見積	
陣笠撤去											
□ 立(7 全化 なか m) . トリー!					か所					見積	
上部鉄筋コンクリート 撤去											
IBA 🕰					か所					見積	
■	上部				13 111					JUIR	
J. 7 7 7 7 1 9											
					m						
灰出口撤去	120 × 180										
					か所					見積	
鉄筋コンクリート撤去	灰出口 モルタルコテ押え、F	P板共		_		_	_				
					か所					見積	

豊平若者活動セ	ンター		煙突改修	<u> </u>				撤去			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
周囲カッター入れ	灰出口										
					m						
砂、砂利、玉石	下部										
撤去					m²						
計											

建梁上争 絀			海ウルタ					7 <i>h.li</i>			20
豊平若者活動セ	T		煙突改修					改修		1	
名 称	摘	要		量	単位	単	価	金	額	備	考
煙突ライニング材入替											
	50mm、断熱材挿/ む 13m	人機、機材運搬費含		1	式						
		<u></u> 火‡ャスター			10						
部・横煙道 隙間				1							
充填					式					見積	
陣笠	900 × 900 SUS30	4 2.0t									
					か所					見積	
灰出口	230 × 380 SUS30	14 1.5t			12 111						
	鍵付き平面ハンドル	, 枠共									
シーリンク゛	MATERIAL AND	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			か所					見積	
9-979	一般部 变成シリコー 15×10	·ノ於 (MS-2)									
					m						
砂											
					0						
砂利					m3						
					m3						
洗い砂利	玉石										
					m3						
計											
								1		1	

豊平若者活動セン			発生材処	理							
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
発生材積込み											
				1	式						
とりこわし											
発生材運搬				1	式						
建設廃棄物等処理											
手数料				1	式						
計					10						

A	144	—	314		332 /3	317	/:	^	<u></u>	,	
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
スケ゛ート	W6.0×H1.8 運搬費含										
	128日			1	式						
通誘導警備員	B 21人日				10						
				1							
					式						
と学物質室内 	学校環境衛生基準によ	る精密測定									
空 気濃度測定	6物質(パッシブ法) 6回			1	式					施工前3回、施	丁後3回
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ラフテレーンクレーン 25t吊り				10					NETHIOE! NE	3工区9日
	オペレータ付き 賃料 4日			1							
					式						
ま定粉じん濃度測 ・	8ヶ所			4							
?				1	式						
ジタル粉塵計漏洩	10検体				10						
定	負圧除じん機排出口			1							
					式						
計											
											-
										1	

名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
環税	最終処分場へ搬出		~^		7 12		1144	312	нх	1110	
-100	消費税10%適用			1							
. /					式						
巻生材売却費 有価屑鉄・アルミ)				1							
日叫旧业 71/~)				ı	式						
計											
	1										
				_		_					
	1										

令和7年度 豊平若者活動センター外部改修ほか工事

図面!	Jスト		
図番	図 面 名 称	図番	図 面 名 称
A - 0 0	表紙・図面リスト	A-21	矩計図(改修前)
A - 0 1	特記仕様書 1	A-22	矩計図(改修後)
A-02	特記仕様書 2	A-23	外部階段詳細図
A-03	特記仕様書 3	A-24	煙突詳細図
A - 0 4	特記仕様書 4	A-25	建具表 1
A-05	特記仕様書 5	A-26	建具表 2
A-06	特記仕様書 6	A-27	1 階天井伏図
A-07	特記仕様書 7	A-28	便所平面詳細図・床伏図(改修前)
A-08	特記仕様書 8	A-29	便所平面詳細図・床伏図(改修後)
A-09	付近見取図、配置図	A-30	便所展開図(改修前)
A — 1 0	1 階平面図	A-31	便所展開図(改修後)
A — 1 1	2階平面図	A-32	部分詳細図 1
A - 1 2	ギャラリー、屋上2平面図	A-33	部分詳細図 2
A-13	屋上1平面図	A-34	部分詳細図3
A — 1 4	立面図1	A-35	仮設計画図 (参考)
A-15	立面図2	A-36	仮設計画図(煙突改修時)(参考)
A-16	外壁調査表		
A-17	外壁調査図 1		
A – 18	外壁調査図 2		
A – 19	外壁調査図3		
A-20	外壁調査図 4		

					_			- 1	D-12/22/2012		1		
有	限	会	社	佐	久	間	設	計	一級建築士大臣	登録168408号			
				Office					検図	製図	検図	製図	
一級建築) 第5	5 2 0 7 号	l	l			
札幌市北	ᄣᄣ	2 4 3	≥四 4] 目 1 :	番 5 号				l	l			

工事概要及び特記仕様書

I. 工事概要

1 工事名称 豊平若者活動センター外部改修ほか工事

2 丁事場所 札幌市豊平区豊平8条11丁目

契約に示す着手目から 令和 7年11月21日まで 3 しゅん功期限

4 工事内容 屋上防水改修、外壁改修、煙突改修、設備改修に伴う建築工事

対象建物概要

用途	若者	支援施設	用途地域等	第一種住居地域			
構造/階数	R C 2 階	造 一部 鉄骨造建	敷地面積	1,394 m²			
改修部分	階		施工内容				
屋上	R	屋上防水の改修					
外部	_	外壁の改修、シーリ	ングの打替え				
内部	_	設備改修に伴う内部	改修				

5 別途工事

本工事に関係のある工事は下記のとおりである。

年 月 旬着手予定 · 電気設備工事 ()令和 ○機械設備工事 (冷暖房·衛生設備改修)令和 7年 6月上旬着手予定)令和 年 月 旬着手予定 外構丁事

6 部分引渡し

部分引渡しの時期 : 令和 年 月 目まで

部分引渡しの範囲:

Ⅱ. 建築工事仕様

- 1 本工事は、公共工事に準じるものとする。
- 2 図面及びこの特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣 官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」または、「公共 建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」による。 (丁事差手日時占の最新版を適用)

- (1)項目は、番号に 印のついたものを適用する。
- (2)特記事項は、① 印のついたものを適用する。
- (・) 印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
- 印と ※のついた場合は、両方共に適用する。
- 4 特記事項に記載の() 内表示番号は、公共建築改修工事標準仕様書または、 公共建築工事標準仕様書 (標)の当該項目、当該図または当該表を示す。

1章 一般事項

01) 適用基準類

T.事着手目時点の最新版を適用する。

建築工事標準詳細図

【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修】 ○工事写真撮影ガイドブック (建築工事編及び解体工事編) 【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修】

⊙建築工事標準仕様書・同解説 JASS 11 木工事

【日本建築学会】 【日本建築学会】

(1, 3, 5)

・寒中コンクリート施工指針・同解説

• 建築物解体工事共涌什様書

【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修】

⊗(参考資料) 建築改修工事監理指針 上巻・下巻

【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修】 ⊗(参考資料) 建築工事監理指針 上巻・下巻

【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修】

(02) 施工条件 ⊙施工時間:施設運営上、制約される場合があるので監督員

と協議のこと

- ⊙施工順序:工程表に基づき監督員と協議のこと
- ○工事用車両駐車場:監督員と協議のこと
- ○その他施工条件: 図示

休館期間:令和7年7月1日~令和7年10月31日

環境配慮

(03) 公共建築物の | 工事の施工に当たっては、札幌市の「環境方針」「札幌市 公共建築物環境配慮ガイドライン」の意図を理解し、環境 に配慮した施工に努める。

(04) グリーン購入

「札幌市グリーン購入ガイドライン」により環境負荷の低 減を考慮した材料等を選定し、グリーン購入の推進に努める。

加えて、資材(材料及び機材を含む)の梱包及び容器は、 可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の 環境負荷低減に配慮されたものを使用するよう努める。

(1) 再生クラッシャランの購入施設名(以下の章共通) 札幌リサイクル骨材㈱ (東区中沼町45番地26) 小橋北豊㈱ (南区石山230番地)

札幌環境資材センター (手稲区曙5条5丁目110番地18) ㈱松原産業 (白石区川下2111番地3) 野田工業㈱ (中央区盤渓264番地)

(2) 汚泥再生材の購入施設名(以下の章共通) ㈱大伸(厚別区厚別町山本1064番72) オデッサ・テクノス㈱(東区北丘珠1条3丁目654番地) (協) 公清企業 (東区中沼町45番地23)

購入条件、購入時期等については、当施設と事前に協議する。

「建築材料·設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価

名簿」((社)公共建築協会編集)により評価を受けた材料を

使用する場合は、評価書の添付により品質等資料の提出を

(06) 道産材の使用

(05) 建築材料等

本工事に使用する主要資材のうち、道内で産出、生産または 製造される資材等で、規格品質等が適正である場合は、これ を優先的に使用するように努めるものとする。

(07) 地域材の使用

本工事に使用する木材または木材を原料とする資材を使用す る場合は、地域材(道内の森林で産出され、道内で加工された 木材)を優先的に使用することとし、使用した材料の種別、 産地等を監督員に報告すること。

(08) 特別な材料の

公土建築改修丁車煙淮什様書(建築丁車編)すたけ公土建築 工事標準仕様書(建築工事編)に記載されていない特別な材料 の工法は、監督員の承諾を受けて当該製品の指定工法による ことができる。

(09) 石綿含有建材 の事前調査等

(1.5.1)(1) 調査範囲 ※全建材 (解体等の作業に係る部分に限る。) その他 (

(2) 既存設計図書等の提供

○既存設計図書

省略することができる。

(木材及び木材製品は除く)

- ・成分分析調査報告書(含有建材は図示による)
- ・石綿事前調査等結果報告書(アスベスト調査票)

(3) 調香方法

※書面調査及び現地での目視調査

成分分析調查

調査部位(• JIS A 1481-1 • JIS A 1481-2 • JIS A 1481-3 • JIS A 1481-4

構造上目視により確認することが困難な建材については、 目視により確認することが可能となった段階で事前調査

石綿含有建材の使用が不明な見え隠れ部分の調査につい ては、保護具を装着するとともに必要に応じて建材を 湿潤に保ちながら手ばらしで行うこと。

新たに石綿含有建材と疑わしきものを発見した場合には、 速やかに作業を中止し、監督員に報告及び必要な措置に ついて協議すること。

(5) 調査結果の報告等

事前調査が完了した際は、石綿障害予防規則及び大気汚 染防止法 (以下、大防法) に基づき、以下のとおり各種 報告等を行うこと。

(7) 監督員に事前調査の結果等を書面で交付し、説明する

- (イ) 労働基準監督署及び札幌市(環境局)に事前調査の結果 等について報告すること。
- (†) 事前調査の結果等については、公衆にみやすいように 掲示すること。

11 特許権等

特許権等の出願を行う場合は、あらかじめ発注者と協議する。 (1.1.11)

一般財団法人 札幌市住宅管理公社建設工事請負契約約款 第8条に基づく特許権、実用新案等、意匠権、商標権その 他日本国の法令に基づき保護される第三者の権利(以下「特 許権等」という)の対象となっている工事材料及び施工方法等

特許権等の種類(

(6) 変更の協議等

(7) 作業完了の報告

適用工事種類

指定職種

仮設工事

鉄筋工事

鉄骨工事

板工事

石工事

タイルT.事

木工事

金属工事

左官工事

建具工事

塗装工事

内装工事

排水工事

舗装工事

植栽工事

カーテンウォールT.事

屋根及びとい

防水工事

ALCハ°ネル・

押出成型セメント

コンクリー

(10) 技能士

(1.4.2)

監督員に提出すること。

調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督員と協議す

る。また、石綿事前調査等結果報告書の内容を更新し、

大防法に基づき、特定粉じん排出等作業の完了後、監督

技能検定の作業の種別

ート圧送

とび作業

鉄筋組立て作業

• 權浩物鉄工作業

コンクリートフ゛ロック 工事作業

ALCパネル工事作業

・アスファルト防水工事作業

・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業

?クリルゴム系涂膜防水丁事作業

合成ゴム系シート防水工事作業

· 塩化ビニル系シート防水工事作業

・ セメント系防水工事作業

⊙シーリング防水工事作業

○改質アスファルトシートトーチ工法

○改質アスファルトシート常温粘

着丁法防水丁事作業

· FRP防水工事作業

防水工事作業

石張り作業

○タイル張り作業

内装仕上げ施工 ○鋼製下地工事作業

大工工事作業

内外装板金作業

内外装板金作業

・ビル用サッシ施工作業

自動ドア施工作業

・金属製カーテンウォール工事作業

ガラス丁事作業

○建築塗装作業

• 建築配管作業

• 浩園丁事作業

• 壁装作業

・ビル用サッシ施工作業

⊙プラスチック系床仕上げ工事作業

・カーペット系床仕上げ作業

⊙ボード仕上げ工事作業

溶融へ。イントハント、マーカーT.事作業

加熱へ。イントマシンマーカーT.事作業

⊙ガラス工事作業

○左官作業

型枠工事作業

コンクリー 工事作業

技能士の適用は以下とする。ただし、作業が軽易な場合は

職種

員に作業結果を書面で報告すること。

監督員の承諾を受けて省略することができる。

鉄館施工

型枠施工

コンク!送施工

ブロック建築

ALCパネル

鉄工

施工

防水施工

石材施了

タイル張り

建築大工

建築板金

建築板金

左官

サッシ施コ

カ ラス施丁

サッシ施工

ガラス施口

塗装

表装

配管

造園

自動ドア施工

カーテンウォール施工.

内装仕上げ施

路面標示施工.

(12) 火災保険等

保険の付保

付保する保険:工事の内容により、火災保険、建設工事保険 組立保険等の一以上の保険を付す。

保険の期日:始期-保険の目的物が工事現場に搬入される日 終期-しゅん功期限+14日以上

(13) 法定外の労災 (1) 受注者は 本丁事に従事する者の業務上の負傷等に対する 補償に必要な金額を担保するため、法定外の労災保険を付す。

> (2)前項で定める保険契約を締結したときは、その証券又は これに代わるものの写しを速やかに監督員へ提出する。

止及び安全管理

(14) 公衆災害の防 │受注者は工事にあたって安全施工を図り公衆災害を防止する ため、「建築工事安全施工技術指針」及び「建設工事公衆災 害防止対策要綱」を遵守しなければならない。 また、有害ガス又は引火性ガスの発生の恐れある場合は、安 全を確認し作業を行う。

(15) 交通安全及び 公害対策

(1) ダンプトラック等、大型貨物運搬車両による土砂及び工事 用資材の輸送に当たっては、踏切、スクールゾーン等、工 事車両が人命等に影響を及ぼす区間が輸送路になる場合、 または埃、振動、騒音等の害をおよぼす区間が輸送路にな る場合は、必要に応じて地域住民及び関係機関等の連絡を 密にして交通安全の確保、公害等の対策に万全を期さねば

(2)工事期間中は、交通誘導警備員を以下の条件に沿って配置 し、現場内における安全確保に努めなければならない。なお 必要となる交通誘導警備員の人数は、作業形態に応じた配 置計画等とともに、あらかじめ監督員と協議すること。 【配置条件】

※ 図示による

(3) 北海道公安委員会の認定する路線における工事現場につい ては、 一級又は二級検定合格警備員を配置する。 (1.3.9)

(16) 揮発性有機 化合物対策

本工事に使用する化学物質を放散(発散)させる建築材料 等は、設計図書に規定する所定の品質及び性能を有するとと もに、揮発性有機化合物の放散(発散)が少ない材料の 使用に努めるほか、以下を満たすものとする。

(1)ホルムアルデヒド放散(発散)建築材料に指定されている 材料は、F☆☆☆☆等の規制対象外材料とする。

(2)接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸-2-エチル ヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、1)の ほか、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチル ベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものと する。

(3)保温材、緩衝材、断熱材は、1)のほか、スチレンを放散 させないか、放散が極めて少ないものとする。

(4)屋内に使用する塗料は、厚生労働省「室内空気汚染に係 るガイドライン」で指定された13物質(以下、13物質)を 放散させないか、放散が極めて少ないものとする。

(5)木質建材、家具、建具類及び二次製品は、(1)のほか、 トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンを放散 させないか、放散が極めて少ないものとする。

(6) ワックスは有機リン系化合物を含有していないものを 使用し、13物質を放散させないか、放散が極めて少ない ものとする。

※施工時・施工後引渡し前には、揮発性有機化合物の放散 (発散)を促進するため、繰り返し換気を行うこと。

17) 揮発性有機 化合物の室内 濃度測定

受注者は、揮発性有機化合物の室内濃度測定を行い、厚生労 働省の指針値以下であることを確認の上、測定結果を監督員 に提出しなければならない。

(1)測定物質

ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、

エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン (2) 測定方法 (※拡散方式 ・吸引方式)

(7)居室の窓及び扉(造付け家具、押入れその他これらに類す るものの扉を含む)を30分間開放し、窓及び扉を5時間 以上閉鎖した後、その状態で採取を行うこと。 また連続的な運転が確保できる換気設備がある場合は稼働

させ、当該換気設備の給排気口は開放することができる。

(イ)居室の中央付近の床から概ね1.2mから1.5mまでの高さ において採取を行うこと。(学校の教室等については、 机上の高さで行うこと。)

(ウ)採取時間は、吸引方式では30分以上継続して、同時に又 は連続して2回以上行うこと。

また、拡散方式では8時間以上とする。(拡散方式とは、 測定パッチ・パッシブサンプラー)

(エ)ホルムアルデヒドは、DNPH誘導体化固相吸着/溶媒 抽出一高速液体クロマトグラフ法によること。

(オ)その他の揮発性有機化合物は、固相吸着/溶媒抽出法、 固相吸着/加熱脱着法または、容器採取法とガスクロマ トグラフ/質量分析法の組合せによること。

(一財) 札 幌 市 住 宅 管 理 公 社

令和 年 月 日

工事名 豊平若者活動センター外部改修ほか工事

図面名

特記仕様書 1

A - 01

(3)測定箇所(3箇所 ※測定位置は監督員と協議のこと) (4) 測定時期 ※工事施工前、工事施工後の2回 ・工事施工後の1回 (18) 工事の入札及 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」を び契約の適正化 | 遵守し、施工体制の適正化を図ること。 19 施工体制台帳 (a) 施工体制台帳 $(1 \ 1 \ 5)$ 建設業法並びに公共工事の入札及び契約の適正化の促進 に関する法律等により、工事の受注者である建設業者は、 下請契約を締結するときは、その金額に関わらず、施工体 制台帳を作成し、工事現場ごとに備え置くこと。 また、その写しを発注者に提出すること。その際、資格 要件にない免許・資格証等の不必要な個人情報は添付しな い。なお、施工体制台帳の作成範囲・構成は、「施工体制 台帳作成のポイント(札幌市財政局工事管理室) | による。 受注者は、監理技術者、主任技術者(下請負を含む)及び元 請の専門技術者(専任している場合のみ)に、工事現場内に おいて、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入 った名札を着用させるものとする。 20 臨時検査 臨時検査は下記の場合に実施する。 (1.8, 2)(1) 中間技術検査 各年度1回以上(ただし、複数年度の継続工事において、 支払が発生しない年度については除く。) 行うほか、 基礎ぐい工事がある場合は、その施工中に1回。 (2) 臨時技術検査 発注者が必要と認めた場合 (21) 法令等の遵守 | 当該工事における適用法令等を遵守し、必要となる法令等を 把握したうえで、その一覧(適用法令・要領・要綱・指針 ・基準・届出時期等)を作成し、施工計画書に明示する。 ②② 苦情の対応処 | 当該工事における苦情への対応及び報告書について、施工計 画書に明示すること。 また、監督員にその都度報告し、指示を受ける。 (1.3.7) ②3) 不法無線局及 受注者は、電波法令を遵守し、不法無線局(電波法に規定す び違法無線局対 る免許または登録をせずに開設する無線局 例:不法アマチュア 局、外国製無線機 (FRS/GMRS) など) 及び無線局の違法な運 用(免許または登録を受けていながら、電波法の範囲を逸脱 を行ってはならない。 (1)受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する 24 建設副産物対 法律」(建設リサイクル法)の対象になった場合、次の項 目に掲げた事項について措置を講ずること。

して使用することなど 例:アマチュア局を使用した業務連絡など) (ア)建設リサイクル法を厳守し、再生資源の十分な利用 と廃棄物の減量等を通じて資源の有効な利用の確保 及び廃棄物の適正な処理を図り、生活環境の保全に (イ)工事に着手する前に別途指示する「再生資源利用計 取合い 画書|及び「再生資源利用促進計画書」を作成し、 監督員に説明の上提出するとともに、特定建設資 材廃棄物の再生資源化等が完了したときは、その実 施状況に関する記録を作成し書面により報告するこ (ウ) 本法律対象となった時は、契約等の新たな手続きが 必要となるので留意する。 (2)受注者は、「建設副産物適正処理推進要綱」を厳守し、 建設工事の円滑な施工の確保及び生活環境の保全に努め ること。 (3)受注者は、着手時に「再生資源利用計画書(建設資材入) と再生資源利用促進計画書(建設副産物の搬出)を作成し 監督員に提出すると共に、工事完了時には、実施書に より実施状況記録を報告する。

ただし、(※)で示す副産物については、市外に搬 出すること。

- 1		
	搬出先	種 別
	再生資源化施設	アスファルトコンクリート塊、コンクリート塊(モルタル付着)、コンクリートでロック(建築用)、インターロッキングブ ロック(着色含)、金属くず、木くず(建設廃材)、 剪定枝等生木、廃プラステック類、蛍光管類、 (条件有)、汚泥(無機性)
	その他の施設	がれき、紙くず・木くず・繊維くず、ALC^゙ネ ル、混合廃棄物、廃石膏ボード、アスファルト防水材 (※)、非飛散性アスベスト成形板(※)
- 1		

- (4) 処理計画については、受け入れ条件等を確認のうえ、 事前に監督員と協議すること。
- (ウ) 再生資源化施設へ搬出した場合、搬出後、調書を監督 員に提出すること。
- (エ) 現場より発生する汚泥は、速やかに溶出試験、含有試 験を行い「環境基本法に基づく環境基準(平成3年環境 省告示第46号)」および「土壌汚染対策法に基づく特 定有害物質の含有量基準(平成15年環境省告示第19号) にそれぞれ適合することを確認し、資料を監督員に 提出すること。 ※試験回数(※1 ·) 回
- (2) 舗装切断汚水
- ・舗装切断汚水は下記の施設で処分すること。 公清企業 (エコパーク) (札幌市東区中沼町45番地23)
- (3) 特別管理産業廃棄物

搬出先: (・種類: 受注者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する 者を選任し、監督員に報告する。なお、選任は受注者の中

(4) 有価金屋

- ・有価金属は、下記の業者で処分すること。
- (7) 札幌市競争入札参加資格者:物品・役務関係・再生資 源閩係業者
- (イ)廃棄物再生事業登録業者(知事登録)
- (ウ)金属くず商許可業者(警察許可)

なお、搬出を行なった際、領収書または、受入伝票等及 び許可書等の写しを監督員に提出すること。

・有価金属は、材料引渡しリストを作成し、下記保管場所 に保管する。 (保管場所:

(5) 産業廃棄物運搬車両表示

産業廃棄物を自己運搬する際に使用する車両には「廃棄物 の処理及び清掃に関する法律施行令第6条」により定めら れた表示を行うとともに、その運搬車に必要な書面を備え 付けること。

(同法施行規則第7条の2第3項及び第7条の2の2)

(26) 設備工事との

①図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及 び、それらの補強

②図示した鉄骨造の貫通孔の補強プレート等

③図示した天井の仕上材,下地材の切込み及び下地の補強 ④電動駆動装置がある建具類の2次配線及び操作スイッチ ⑤自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強

令和 年 月 日

設備機械の位置・取合い等、検討できる施工図を提出して 監督員の承諾を受ける。

工事区分		該当	は	•	印とする。
項目	建築	電気	暖房	衛生	備考
躯体の設備配管用のスリーブ及びボックス入れ	0	0	0	0	
同上の補強	0	0	0	0	
天井・壁取つけ設備機器用穴あけと補強		0	0	0	墨出は設備
ルーフドレン	0	0	0	0	補強は建築
設備用天井・床下点検口					位置は協議、
	_		1		墨出・施工建築
設備用穴あけとモルタル充填・断熱補修		0	0	0	
ドラフトチャンパー本体及び排気筒	0	0	0	0	
設備用機械基礎	0	0	0	0	
床下受水槽マンホール	0	0	0	0	
換気扇等の取付用枠	0	0	0	0	
ピット内連通管	0	0	0	0	

(27) 工事標識

ード・ベンドキャップ類のコーキング 衛生器具廻りのコーキング 工事に先立ち監督員の指示する位置に指定様式の工事標識

設備機器取付用下地補強

・Aタイプ(縦850×横1,760) ※Bタイプ(縦850×横800) 表面材:着色カラー鉄板白色 厚0.35mm、文字は黒色。

	工事名
エ	工事
	工事期間 令和 年 月 日~令和 年 月 日
事	施工者
	会社
標	代表者名 Tel
	発注担当 (一財)札幌市住宅管理公社
識	保全部 保全課 建築係
	Tel 211-3383

(28) 建設機械の 選定

工事に使用する建設機械は、以下による。

「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」(平成 9年建設省告示第1536号) により指定された建設機械を使用 する。本工事において、以下に示す建設機械を使用する場合 は、国土交通省「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づ き指定された排出ガス対策型建設機械、平成7年度建設技術 評価制度公募課題の「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」 また、これと同等の開発目的で実施された民間開発建設技術 の技術審査・証明事業により評価された排出がス浄化装置を装 着した建設機械を使用する。ただし、道路運送車両法の保安 準に排出がス基準が定められている自動車の種別で、有効な自 動車車検証の交付を受けているものは除く。その旨を施工計 画書に記載し監督員の確認を受けると共に、現場代理人は施 工現場において使用する建設機械の写真(指定ラベル、形式 等) を監督員に提出する。

なお、これにより難い時は監督員と協議すること。

対 象 機 種	型式	規 格
バックホウ	油圧式クローラ型	ディーゼルエンジン
ブルドーザ	普通、湿地、リッパ装置付	(エンジン出力7.5kW以
トラクターショベル	ホイール型	上260kW以下)を搭載
発動発電機	可搬式、溶接兼用機含む	した建設機械に限る。
空気圧縮機	可搬式	ただし、道路運送車両法
油圧式杭圧入引抜機		による排ガス規制を受け
ローラ	ロードローラ、タイヤ	ている建設機械は除く。
	ローラ、振動ローラ	
ホイールクレーン	ラフテレーンクレーン	

基づき定まる風 圧力及び積雪荷 重に対応した 丁法

29 建築基準法に 建築基準法に定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法と定 められた工種について、工法を施工計画書として提出する。 (標8.4.3)(標10.5.3)(標13.2.3)(標13.3.3)(標14.7.3)

建築基準法に基づき定められた区分等

基準風速 Vo=(※32) m/s

地表面粗度区分 (・Ⅰ ・Ⅱ ※Ⅲ ・Ⅳ)

多雪地域とし、垂直積雪量等は、札幌市建築基準法施行細則 第21条による。

(30) 施工数量調査

○調査範囲 基礎、外壁 ⊙調査方法 打診、目視調査

破壊部分の補修 ○報告書 図面、集計表

(31) 完成時の提出 図書

完成図 ※作成する(A3判 2 部)・作成しない 作成方法

> ○製本(A3判2部) ・白焼きバラ(A3判 部) 製本等は、完成図、主要な施工図、実施工程表、施工 業者一覧、主要な使用材料一覧をまとめたものとする。 (1.9.1)(1.9.2)(表1.9.1)

完成図のCADデータ ※提出する ・提出しない データ形式は、以下のすべてを提出すること。 (1.9.2)①貴社で使用しているCAD形式

②DXF形式 ③ P D F 形式

保全に関する資料 ※作成する(1部)・作成しない (1.9.3)

保証書等 ※作成する(2部)・作成しない 設計図CADデータの提供 (提供する・提供しない)

提供するCADデータは、本工事の履行に必要な施工図及び 完成図の作成においてのみ使用し、それ以外の目的で使用 してはならない。提供したCADデータは、引き渡し時を目途 に複製も含めてすべて削除すること。

(32) 工事写真及び 完成写真

- (1) 工事写真の撮影及び整理については、「営繕工事写真 撮影要領(工事着手目時点の最新版を適用)」による。 ただし、提出部数及び形式については監督職員と協議 (1, 2, 4)
- (2) デジタル工事写真については、国土交通省通知「デジ タル工事写真の小黒板情報電子化について (工事着手 日時点の最新の通知を適用)」に基づき実施する。

(3) 完成写真の提出部数 (紙媒体 1 部) (電子媒体 2 部) 完成写真の仕様は、監督員と協議する。

(4) 受注者は著作物等(工事写真・完成写真等)の利用を 発注者に許諾する。

|(40) 週休二日工事 |(・)週休二日工事の実施について

) 本工事は、「週休2日工事(営繕・土木工事)」の対象工 事であり、当初予定価格は4週8休以上の達成を前提とした経 費の補正を行っている。

2. 週休2日とは、対象期間において、4週8休以上の現場閉 所 (現場休息) を行ったと認められる状態をいう。

対象期間は、工事着手目(現場に継続的に常駐した最初の目) から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始休暇6日間 夏季休暇3目間、工場製作のみを実施している期間、工事全体 を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外と している内容に該当する期間(受注者の責によらず現場作業を 余儀なくされる期間など) は含まない。

3. 4週8休以上とは、対象期間内の現場閉所(現場休息)率 が28.5% (8日/28日) 以上の水準に達する状態をいう。 4. 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。

- 1) 受注者は、週休2日の休日取得計画を施工計画書に添付 し発注者へ提出する。
- 2) 受注者は、実施結果を工事月報、休日取得計画(実施)等 により定期的に発注者へ報告する。

5. 現場閉所 (現場休息) の状況を確認後、4週8休に満たな い場合は、補正分について減額の設計変更を行う。

6. その他の事項については、公社HPに掲載している週休2 E 工事要領(営繕・土木工事)によるものとする。

2章 仮設工事

(01) 足場その他 ○内部足場: ※脚立、足場板等 ・架台足場 ・移動式足場)

> ●外部足場:◎枠組 くさび緊結式 ●単管 移動式 コ゛ント゛ラ 高所作業車

○危険防止: ・金網張 ○金網式養生枠

防炎シート (※ I 類 · Ⅱ 類) ・ネット状養生シート (※ I 類 ・Ⅱ類) 養生防護棚

○材料、撤去材料等の運搬方法

A種(二本構リフト)
 ①B種(トラッククレーン等)

・C種(既存EV利用) ・D種(既存階段) ・E種(登り桟橋等) 手すり先行足場

(手すり先行足場を使用する場合は「手すり先行工法に関する ガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」による)

(02) 既存部分の 養生

⊙既存養生方法(※ビニルシート、合板類) (2.3.1)○既存部分における既存家具、既存設備等の養生(※ビニルシート) ・既存ブラインド、カーテン等の養生方法及び保管場所

(※監督員の指示による) ・備品、机、ロッカ-等の移動 (・行う ・行わない)

03 仮設間仕切り

・設置する(図示による)・設置しない $(2 \ 3 \ 2)$ 種別(・A種 ※B種 • C種) (表2.3.1)

A種及びB種の材種:

ケイカル板 + 石膏ボード)

合板

(※石膏ボード

(一財) 札 幌 市 住 宅 管 理 公 社

(7) 建設副産物の搬出先は下表の通りとし、原則として

札幌市内の処理施設を、「札幌市産業廃棄物処分業

許可業者名簿」(環境局HP参照)から指定すること。

(1.3.12)

②5) 発生材の処理 (1) 本工事で発生する建設副産物は、次により処理を行う。

工事名 図面名

豊平若者活動センター外部改修ほか工事

A - 02

(2, 2, 1)

(表2.2.1)

特記仕様書 2

(1, 6, 2) (1, 6, 3)

	厚さ(※9.5mm ・9mm ・4mm+12.5mm) 仮設扉(※設置する(図示による) ・設置しない) 扉の構造(※合板張り木製扉程度 ・図示による)		本)について、1日の作業終了時に杭施工業者よりそのコピーを 受け取り、施工報告書に疑義が生じた場合には照合を行える よう管理する。	06 各部配筋	※構造図、構造特記仕様 ・公共建築工事標準仕様 【その他記載すべき事項	書 各部配筋参考図による(図中の	07 軽量コンクリート	適用は構造特記による スランプ(※構造特記による・	(標6.10節)
	塗装(・行う ※行わない)		関連告示等の順守	6章 コンク		1 は囚小による)	08 寒中コンクリート	適用期間 11月1日から3月31日の間に打	汀設する部分とする。 (標6.11節)
(04) 仮囲い	・鋼板製(H=3,000mm) (・片面現場塗装 ・塗装なし) ・ガードフェンス(H=1,800mm) ⊙仮門(・パネルゲート ⊙クロスゲート) (H= 6,000 mm 、W= 1,800 mm)		(1) 基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置 について【国土交通省告示第四百十十八号(平成28年3月4 日)】 (2) 基礎ぐい工事における工事監理ガイドライン【国土交通省住宅	(1) コンクリートの種類等	・特殊コンクリート(相			適用期間 ※適用なし (構造体強度補正 (※6N/m㎡ ・) (標6.12節))
05) 工事用水	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償・無償)		局】 (3) 既製コンクリート杭施工管理指針【一般財団法人日本建設業連合 会】		造特記による) コンクリートの種別(※	二号に規定されたコンクリート(構 (標6.2.1) ※Ⅰ類 ・Ⅱ類)(標6.2.1)(標表6.2.1)	10 無筋コンクリート	(標6.14.1) (標6.14.2) (標6.14.3) 設計基準強度 スランプ(cm) 粗骨材の最大 ※18N/mm2 ・15 ・18 ※25mm	大寸法 適用箇所
06 工事用電力	構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)	03 砂利及び砂地 業	材料(・砂・切込砂利・切込砕石 ※再生クラッシャラン) (標4.6.2)			(標6.10.2) ※標表6.10.1による・・)	11 打継目地	寸法 (※図示による・・)	(標6.6.4)
07 工事用仮設 道路	範囲は図示による。 材料(・再生クラッシャラン ・切込砕石 ・敷鉄板 722)		厚さ mm) 施工箇所()(標4.6.3) 設計基準強度(・15 N/mm2・18 N/mm2) (標4.6.4)(標6.14.1)	(02) コンクリート の強度及びスラ ンプ	コンクリートの強度及びスランプ 設計基準強度 (N/mm2) スラ ※ 21(N/mm2) ・15	(標6.2.2) (標6.2.4) (標表6.2.2) ンプ (c m) 施工箇所 ・○18	12) 型枠	打増し厚さ(※20mm · mm ① ひび割れ誘発目地(※位置、形状及び	
3章 土工事	į.	卜地業	スランプ (・15cm ・18cm) (標6.14.2) 厚さ (※50mm ・ mm)					スリーブに用いる材料 材種 (※標6.8.2 (9)(イ)による・	
01 排水	排水工法 (標3.2.2) 排水処理の方法	05 床下防湿層	材料(※ポリエチレンフィルム厚0.15mm)範囲は図示による (標4.6.2)(標4.6.5)		合板せき板の打放し仕上	げ (標6.2.5)(標表6.2.4)		規格 (※標6.8.2 (9)(4)による・せき板の材料 厚さ等	施工箇所
	種別 (・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・汚泥再生材) C種の発生場所:	5章 鉄筋コ	事	リートの仕上り	種 別 • A種	施工箇所		・合板 表面加工品 ※12mm ○合板 B − C種 ※12mm	
土	受入れ量: m3 (標3.2.3)(標表3.2.1)	(01) 鉄筋の種類	鉄筋の種別 (標表5.2.1) 種別 JIS G 3112 径 備 考		○B種 床・C種			・床型枠用鋼製デッキブレート mm ・断熱材兼用型枠材 ・MCR工法用シート	
03 建設発生土の 処理	搬出先() 運搬距離 (km)		● S D 295 D 1 3 以下 ・S D 345 D 以上		種類 スランプ (cm)	1	7 辛 コン/	フリートブロック・ALCパ	<u> </u>
	住 所: ・構内指示の場所に運搬(・堆積 ・敷均し)		・S D345 D アンカー差し筋 適用箇所は図示による		・a種 化粧打放しコンクリー 塗装仕上げ 壁紙張り	ト 合成樹脂塗床 ピ=ル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ		アリートフロック・ALCハ 甲出成形セメント板工事	
04 山留め	工法() 施工範囲(※図示による) 構造() 土質(※図示の柱状図による) 山留め周囲の上載圧(t/m³) 地下水位(GL-m)	02 溶接金網	網目の形状 (※レギュラー溶接金網 ・デザイン溶接金網) 網目の寸法(mm) (・100×100 ・150×150) (標5.2.2)		接着剤による陶磁 ・b種 仕上塗材塗り	を器質タイル張り フワーアタセスフロフ (置敷式) カーパット張り 防水下地	01 補強コンクリ ートブロック造	※空洞ブロック16 ・空洞ブロック1	/ .
	山留めの撤去(※撤去 ・存置) (標3.3.1)(標3.3.2)(標3.3.3)	(03) 加工	鉄線の径 (・3.2mm ・6.0mm) 規格番号JIS G3551 90°未満の折り曲げの内法直径(※構造特記による)(標5.3.2)			セルフレベ・リング・材塗り タル張り		厚さ (・100mm ・120mm ・15 各部の配筋 (※図示による ・	(標8. 2. 5)
4章 地業	[事	04) 継手及び定着	継手 (標5.3.4)		モルタル塗り 胴縁下地	モルタル塗り 二重床	02 コンクリート ブロック帳壁及 び塀	1	(標8.3/2)(標表8.3.1) 壁 塀 ・)
01 試験	試験杭(※行う・行わない) (標42.2) 位置は図示によるほか監督員との協議による。 杭の本数(※最初の1本・本) 杭の種類(※本杭と同じ・ m) 杭径(※本杭と同じ・ m) 杭径(※本杭と同じ・ m) 杭径(※本杭と同じ・ m) 位置、本板の世間・ ※行わない) (標4.2.3) 種類(・鉛直載荷・水平載荷) 位置、本数、載荷荷重又は報告書の記載事項は図示による 地盤の平板載荷試験(・行う ※行わない) (標4.2.4) 試験方法(※段階式載荷・段階式繰返し載荷) 位置、載荷荷重及び報告書の記載事項は図示による。		適用簡所 ①重ね継手 ・ガス圧接継手(標5章4節) ・D16以下 ・機械式継手(標5.5.2) ・ ・溶接継手(標5.5.3) ・ 継手位置 ※構造特記による (標6.14.2) ・ ・公共建築工事標準仕様書各部配筋参考図による 柱及び梁の主筋及び耐力壁の鉄筋重ね継手の長さ (※構造特記による) 耐力壁の鉄筋重ね継手の長さ (※40dと(標表5.3.2)のうち大きい値 ・構造特記による)	①4) コンクリート の材料	種類 ※普通ボルトランドセメント又は、混合 ・早強ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB ・普通エコセメント	(標6.3.1) (標表6.3.1) 適用箇所 すせから A種 下記以外のすべて	03 ALCパネル	・種類 空洞ブロック08 (・衛生配管用裏積みブロック・厚さ (・100mm ・120mm ・150mm 各部の配筋 (※図示による・ A L C パネルはJIS A5416による 種類、工法 (標8.4.2~ 種 類 寸法(mm)W×D×t 単位荷重(kN)・外壁用パネル・間仕切用パネル・屋根用パネル 外壁パネル構法、屋根及び床パネル構法	5) (表8.4.2) (表8.4.3) 種別 耐火性能 備 考 ・ 種 ・ 種 ※F種
02 既製コンクート杭及び鋼杭地業	7		鉄筋の定着長さ (※標表5.3.4による ・図示による) 機械式定着工法・適用する 適用箇所 (・図示による・・・・) 種類 (・図示による・・・・) ガス圧接継手の抜取試験 ・引張試験)・塩害を受けるおそれのある部分、耐久性上不利な箇所 (※図示による) ガス圧接継手の抜取試験(※超音波探傷試験・・引張試験) ・・ リ・塩害を受けるおそれのある部分、耐久性上不利な箇所 (※図示による)		る区分(※N ・L) 電気炉酸化スラグ粗骨材 混和材料 ・特記による混和材料 使用量() ※種類は(標6.3.1)、使月 レディーミクストコンクリート工場の過	・無筋コンクリート 区分(※A ・B) 密度、吸水率及び単位容積質量によ の絶乾密度の区分(※N ・L) (標6.3.1)(標6.3.2) 種類()、使用方法()、 用方法及び使用料は(標6.3.2)による。 選定は、「全国品質管理監査会議」が管理監査去議」に基づく監査に適合	04 押出成形セメント板	耐風圧性能 () 耐震性能 () 外壁用パネルの出偶入隅の目地幅(・伸縮目地へ が耐火目地材の充填 外壁用パ ネルの幅 (※300mm 押出成形セメント板はJIS A5441による	mm) (標8. 4. 3) (標8. 4. 4) (標8. 4. 3) (標8. 4. 4)) (標8. 4. 3) 票表8. 5. 1) (標表8. 5. 2) (mm) 取付工法
	アースオーガーの支持地盤への掘削深さ(・1.5m程度) 杭の支持地盤への根入れ深さ (・1 m以上) ・建築基準法に基づく(認定)特定埋込杭工法 (標4.3.5) (工法:) 支持地盤は図示による。 (標4.3.4)(標4.3.5)(標4.4.4) 杭の水平方向の位置ずれの精度(標4.3.4)(標4.3.5)(標4.4.4)	(05) 鉄筋のかぶり 厚さ及び間隔	機械式継手及び溶接継手□ (標5.5.3)(標5.6.3) 種類 (※図示による) 品質の確認方法□ ※図示による) 継手部の試験工法 (標5.5.5)(標5.6.5) (・外観試験・超音波探傷試験) 不合格となった継手の修正方法等(※図示による) 軽量コンクリートの最小かぶり厚さは構造特記による。 特殊な継手の鉄筋間隔は構造特記による。 (標5.3.5) ・塩害を受けるおそれのある部分、耐久性上不利な箇所 (※図示による)	(05) 構造体強度 補正値	A種の構造体強度補正値 構造体強度補正値(S) 3 N/mm2 6 N/mm2	セメントA種、シリカセメントA種、フライアッシュセメント (標6.3.2) (標表6.3.2) 適用期間 4/11~10/20 10/21~ 4/10 ート、捨てコンクリートは除く () (標6.7.2)) (標6.8.4)		耐震性能 () 外壁用パネルの相互の目地幅 (※長辺 10mm以上 短辺 15mm以外壁用パネルの出隅入隅の目地幅(※ 1 外壁パネルの欠き込み(開口限度 mm 目地及び隙間 (※パネル製造所 間仕切壁パネル工法 耐震性能 ()	5mm) (標8.5.3)(標8.5.4) とする) (標8.5.5)
(— H /	\	令和 年	月日		工事名	豊平若者活動センター外部改修	ほか工事	1	図番
(*)					図面名	特記仕様書 3		縮尺	A-03

8章 防水改	て修工事	05 合成高分子系	新規防水層の	の種別、施工箇所	行 (3.5.3)(表:	3. 5. 1~3)		材料、目地寸	 法	(3.	7. 2) (3. 7. 3) (表3. 7. 1)	04 金属成形板				(標14.6.2)
(01) 降雨に対する	(※3.1.3による・・) (3.1.3)	ルーフィング シート防水	種 別		施工箇所			シーリ シリコーン系	ングの種類 1成分		(mm) 施工簡所 図示	張り(天井)	• 金属成形板	材料の種別・	引 表面処 ・	上理等 その他 塗装等は図示
養生方法 (02) 改修工法の	 改修工法の種類 (3.1.4)(表3.1.1)			種類、設置数量	<u>↓</u> 上様による ・図示に	よる)		変成シリコーン		形			取付用下地(※軽) 伸縮調整継手(
種類	既存防水工法による 既存保護層及び防水層の 新規防水工法の種別に		材料、施工			2) (3. 5. 4)		ポリサルファイ	-	形	図示	(05) アルミニウム		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	BA 17 54	(3.9.2) (表3.9.1)
	区分 撤去、非撤去による区分 よる区分 ・P(保護アス・改質アス)・1(保護及び防水撤去) (→AS(改質アス)		以下による					ポリウレタン	2 成分 系 1 成分			製笠木	○オープン形式	・押出し250	形 ①押出	し275形 ・押出し350形
	● M(露出アス・改質アス)・2(保護撤去、防水非撤去) ・ASI(改質絶縁断熱)		1	ングシート種類	厚さ(mm)			NY 1/ V 2 2 3	2成分		図示		・板材折曲げ形	幅(・)	板厚(※2.0mm)
	● S (シート) ● (露出防水撤去) ・ S (シート)		加硫ゴム系塩化ビニル樹	脂系	· 1. 2 · 1. 5 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			アクリルウレ	タン系 2成分				表面処理(・AB-1	1種 ※BB-	1種・)
	・L(ウレタン) ①4(露出防水非撤去) ・SI(シート断熱)		エチレン酢酸		• 1. 0			上記以外の	ものは表9.7	.1による。			Seek over Sale (1), ()		//-	(表5.2.2)
	・() ・0(保護及び防水非撤去) ・X(ウレタン) ・() ・()		・熱可塑性エラ	ストマー系	• 1. 2			外部に面す	スシーリング	が材の接着試験	(3, 7, 8)		避雷導体(・あ	り・なし	(板原	厚 mm以上))
	既存防水層等の撤去及び既存下地の処理 (3.2節) (※図示による・)		1 - 1 - 1		1.5mm ·)			簡易接着	· 性試験(※行う ・行ね(適用箇所:・行う ※行ね	bない))		○建築基準法に基 固定金具、固定			び積雪荷重に対応した
			• 断熱材					N = 11 - 6		(適用箇所:	· ·					木の下地補修工法
03 アスファルト 防水	新規防水層の種別、施工箇所 (3.3.3)(表3.3.3~表3.3.10)		工法 • 機械的固定	JIS A9521 (発砲プ	材料	厚さ(mm)		注:同材の組	1台せで実施	した試験成績を	表がある場合は行わない		(※図示に	よる	•) (3. 9. 3)
123731	種別施工箇所		• 恢恢的向止	J15 A9521 (発砲/	7人777時7款41)			<u> </u>								
	⇒ 1 10 が07 よいトオ II *** R の ア 体			 硬質ウレタンフォーム断ず 	熱材2種1号又は2号		9章 金属工	[事				06 長尺金属板葺	材料及び葺形式		(標13	3.2.1~3) (標表13.2.1)
	・立上り部における保護層の工法 (※場所打ちコン ・乾式保護材 ・保護れんが)			(透湿係数の規定)	は除く)		(01) あと施工アン	あと施工ア	ンカーの種类	—————————————————————————————————————	(8. 2. 4)		種類		英 めっき付	才着量 厚さ(mm) 屋根葺形式
	・脱気装置 種類、設置数量		 接着工法 	JIS A9521 (発砲プ	ラスチック断熱材)	1.	カー				式 ・内部コーン打込式		※JIS G3322 カラーカ゛ルバ 及び鋼帯	リウム鋼板		・横葺・蟻掛葺
	(・図示による ※アスファルトルーフィング類製造所の仕様による)				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			アンカー		※本体打込式	・スリーブ打込式		及び鉤帘			・城掛章
	材料、施工				熱材2種1号又は2号				・締付け方式	・コーンナットコ	式 ・テーパーボルト式					・平葺
	アスファルトは、JIS K2207防水工事用アスファルト3種			(透湿係数の規定)	は除く)						さ ・ウェッジ式		下葺材料 ・ 」	IS A600577	ファルトルーフィン	7 940
	・改質アススファルト 種類 ※非露出複層防水用R種		/1. 1 h P3A del	種類				・接着系アンカー	※カプセル型	・ポリエステルデ・エポキシ系	系 ・エポキシアクリレート系		1	女質アスファルトル		
	ルーフィング シート 厚さ ※1.5mm ・		仕上げ塗料	使用量						・ビニルウレタン	ン系		・建築基準法に定する	!まる風圧力	」及び積雪で	荷重に対応した工法と
	・押え金物 ※アルミニウム製L-30×15×2.0程度 ・図示による		PCコンクリート下士	地及びALCパネル	下地の場合の目地処理、	入隅の				無機系()		9 つ 設計図書に定めの)ない工法に	は専門業者	の仕様による。
	・断熱材 工法 材料 厚さ (mm)		増張りは図え	示による				-	注入型	・カートリッジ	. 租担部人			J	. 41726 6	1221377
	・保護防水 JIS A9521 ・		•建築基準法	法に基づき定まる	風圧力に対応した工法	とする						07 折板葺				標13.3.3) (標表13.2.1)
	断熱工法 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA	(06) 塗膜防水	新規防水層の	の種別、施工箇所	(3.6.3)(表	3, 6, 1~3)		あと施工アンカ			・図示による) (8.2.4) せん断耐力 確認強度		長尺金属板 • JIS G3318 塗装溶刷	板厚(mm)		山ピッチ記号 形式 ・20 ・25 ・重ね形
	- 露出防水 JIS A9521 (発砲プラスチック断熱材) ・	<u> </u>	種別		施工箇所	37 37		1 / 2 / 14	(mm以上)	•	(kN以上) (kN以上)		・JIS G3318 塗装裕酬 亜鉛-5%アルミニウム合金		13	・20 ・25 ・里ね形 ・30 ・33 ・はぜ締め形
	断熱工法		○常温改質アス	スファルト塗膜防水	庇屋根			以上		(RIVEX.L)	(AITOL)		めっき鋼板		10	· 35 · 40
	・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号		脱气装置(の種類、設置数量	ł .			以上						• 0.8	• 15 • 17	• 45 • 50
	(透湿係数の規定は除く)				** ※主材料製造所の仕様	美による)		適用箇所は	図示による		-		・JIS G3322 カラーカ゜ル		• 19	
	※露出防水断熱工法におけるルーフドレン回り及び立上り部周辺の張り			種類 ()トップュー				• 製品取付	用あと施工プ	アンカー(※製	造所の仕様による		バリウム鋼板			
	じまいは図示による		① 仕上げ塗料	使用量 •	※主材料製造所の	仕様による)		埋込み配管	生の握本		•					
	・絶縁用シート ※ 3.3.2.(10)による		・種別 Y-20	の保護層:絶縁用	引シートの材料()			サの採重 方法(・	※図示は	こよる) (8.12.2)					
	·				ン又は保護モルタル(※図示			1		行う ⊙行わた				ĝ (200kg f∕r	n²) ・3種	(300kg f/m^2) ·)
	・保護コンクリート 設計基準強度 (※18N/mm2 ・) スランプ(・15cm ・18cm)				ジアミノジフェニルメタン)が含ま 晶合、特定化学物質障害			方法(※	(引張試験機	による試験	•)		・軒先面戸板 ・断熱材張り 種	≨ ₽(/) !	厚さ(mm)
	仕上・厚さ(・こて仕上 80mm以上 ・仕上あり 60mm以上)			不何を使用する物 置を適切に講じる		1. 60 次5月	(02) 軽量鉄骨天井	野縁等の種類	類 屋内(※19形) 屋	外(※25形)			まかい 方火性能()	7-C IIIII)
	・保護れんが ※普通れんが (JIS R 1250)						下地			(標14.4.2) (標表14.4.1)			₹まる風圧フ	7及び積雪	荷重に対応した工法と
	・屋上排水溝 ※図示による	07 ケイ酸質系塗布防水	I		(標9.6.1)(標9.6.3)(標	票表9.6.1)		1	、野縁受、´ 『示による		インサートの間隔		する。	ハチンハーナ汁)	ナ北井の第八年	正の4. 井に トマ
	・仕上塗料 種類 使用量	和奶水	種別等 • C-SUI ※	施工箇所	備考					ノ Z試験の箇所数	(標14.4.3) 確認強度		設計図書に定めの 雪止め□(・設)			
			· C-SUP	X B / Y				受け (6.6.4)		いい。一般の国所致	(唯祕) (独)					,
(04) 改質アスファ ルトシート防水	新規防水層の種別、施工箇所 (3.4.3)(表3.4.1~表3.4.3)		PE T# 0 F	+-1. THE (V-1.0)	1 14r44 L.	,		・既存の埋込み		á該階において3箇 層	所 ※400N程度	(08) その他金属製	(##14 0 1) (##1	4 0 0) / im =	±14 0 1) /:	標14.2.3) (標表14.2.2)
ルトシート例水	種 別			のホー地(ペコン) トの打継箇所の処	リート打放し仕上げB種 ・ ユ理	·			.		-	品	(保14. 2. 1) (保14			
	[○ AS-T3 屋上				flい、ポリマーセメントモルタル充填・)		・あと施工アンカー	*\frac{1}{2}	á該階において3箇F	所 ※400N程度			材料の種別	別 表面処	
	●脱気装置 種類、設置数量 (※改質アスファルトシート製造所の仕様による・図示による)	(08) 施工票	丁 古 ウ フ か	監叔只の北ニュ	- 7.根形に貼りへはて				.		-		・手すり ・ショップ	亜鉛めっ	き ※C種	塗装等は図示 塗装等は図示
	・ ASIにおける防湿層	地上宗			「る場所に取りつける。 県字、クリヤ焼付塗り(85mm	×125mm)		・つりボル	 トの間隔が		場合			⊙S U S 304		
					、施工年月日、種別、	· /		1		図示による			⊙ フード	⊙S U S 304	*N o 2 I	3仕上げ
	材料、施工 (3.4.2) (表3.4.1~表3.4.3)	(09) 防水保証	/D === 88 4// D	「○火井工事の」) rln o 33 n	,		T# > 1.	- 7 - 2 : 0 0	ナ切こす坦人			•	• SUS304		· ·
	改質アスファルトシート、粘着層付改質アスファルトシート、部分粘着層付アスファ ルトシートはJIS A6013により種類及び厚さは以下による。	09) 防水保証	保証期間		・ ・ ・) · ・ ・) · ・ ・) · ・ ・ ・ ・) · ・ ・ ・ ・	1				nを超える場合 ・図示による			・昇降階段・コーナーアングル	・スチール		<u>っき</u> ・
	種類 厚さ(mm) 区分 施工部位													1		
	●非露出複層防水用(下層) 1.5 以上 ※R種 ・N種 ●平部 ・立上り	10 シーリング	改修工法の利	種類	(3. 1. 4) (表3.1.2)		・耐震性を	考慮した補弘	歯 補強方法(・図示による)					製造所の仕様による。
	●非露出複層防水用(下層) 2.5以上 ※R種 ・N種 ・平部 ●立上り		種別		施工箇所			耐風圧性	を考慮したね	a	(標14.4.4) (・図示による)		ステンレス材の表面処理			とする ・ 夏 2種)の着色方法
	○露出複層防水用(上層) 3.0以上 ※R種 ・N種 ○平部 ・立上り		シーリング充シーリング再		図示による。			1077=1,33	2 7,21 - 7-11	1113230 12.	(標14.4.4)		(※2次電解着色			
	・押え金物 ※アルミニウム製L-30×15×2.0程度 ・図示による		・拡幅シーリン		因がによる。								LLess November 1911	I I also have have below.	(
	 ・断熱材 種類 JIS A9521 (発砲プラスチック断熱材) 		・ブリッジ工法				(03) 軽量鉄骨壁下	スタッド、	ランナーのチ	重指 ((標14.5.3) (標表14.5.1)	09 とい	材種 ※配管用炭 工法 降雨に対す			
	・ 例系列 (無知 J13 A9521 (光旭/ ////7/ 例系列)						地			^{単規} ○ 図示による			上仏 阵雨に刈り 防露巻き			
	・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号		1	材はJIS A5758よ	り、有効期限を過ぎたも	のは使		・スタッド		0mを超える場			たてどい受金物の			.る・)
	(透湿係数の規定は除く)		用しない					O₩1 □ . □	種類(関ロ郊の補品	魚(※ 14. 5. 4√こ) (標表14.5.1)		ルーフト・レンの取付け) 1章 一般事項 揮発性
	厚さ・								ガロ砂ツ補気	π (2×14. 0. 4/⊂	(標14.5.4)		有機化合物対策に		ス似里守は	平 双尹炽 揮兜性
	●仕上塗料 種類 ●トップ・コート塗り										(1)(1210-1)			20		
	使用量 ①牧質アススアォルトシートの製造所の仕様による。															
	·	令和 年	月日					•	工事名	曹亚芸者	活動センター外部改	修ほか丁事	-			図番
(一 財))札幌市住宅管理公社								<u> </u>			N 100 T T				A_04
									図面名	特記仕様	書 4		稲			A-04

10章 左官工	事		02) 工法別使用		. 2. 4) (4. 2. 5) (4. 3. 5) (4. 3. 6) (4. 4. 5) (4. 4. 6)		○壁タイル		311 0 0) (無 寸 4 4 5) (振 寸 4 4 6)	12章 建具改	次修工事	
01 モルタル塗り 02 防水モルタル 塗り	仕上げの種類 ・金ゴテ仕上げ ・木ゴテ仕上げ ・はけ引き仕上げ ・材料 (・現 ・既製目地材 ・床目 地の設置 工位置 (※2n ・外装タイル張り	/	材料	・手動式エポキンパー・機械式エポキンパー・機械式エポキンパー・機械式エポキンパー・その他の方法(技き取り箇所 抜き取り部分・シール充均 ・シーリング(・150・150・150・150・150・150・150・150・150・150	注入間隔 注入量 ※200~300mm ・	(03) 塗り仕上げ	・内装タイルリュニットタイル・下地もかりが有機系接着 打雑縮調整 ※目地の位 ・目地改修	ル ・接着張り ・接着別 ・ マスクリ ・接着剤 ・ マスクリ ・接着剤 ・ マスクリ ・接着剤 ・ マスクリ ・ 接着剤 地による できる おいました できる	展り ・モザイクタイル張り 展り 器質タイル張りにおける目地のシーリング 材 秀発目地 (※ボリウルタン系 ・)) 日地 (※変成シリューン系 ・) (4.4.16)	01 改修方法 02 防火戸 03 建具見本の製作等ほか 04 防音、断熱、耐震性能	工法 (○かぶせ工法 ・撤去工法) 新規建具の開け方及び建具周囲の補修工 図示による。 建具周囲のシーリング材は「8章 防水 適用箇所 ※図示による ヒューズ装置、熱感知器等との連動 ※ 見本製作(・行う ※行わない) 仮 組 (・行う ※行わない) 防犯建物部品の適用(・あり(図示)	法並びにその範囲は 改修工事」による。 (5.1.4) 図示による (5.1.5)
ト直均し仕上げ	・金ゴテ仕上げ・粗面仕上げ・塗物、敷物、 張物等の下地種類	施工箇所: 施工箇所: 施工箇所: (標15.5.2)(標表15.5.1)(標15.5.3) 塗り厚さ		対験の適用箇所 ・シール工法	※簡易接着性試験 ・引張接着性試験) (4.2.4) (4.2.6) (4.3.5)(4.3.7) シ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 (4.2.4) (4.2.8) (4.3.5)(4.3.9)	外壁等の改修	工法 処理範囲 下地調整塗材	・塗膜は ※既存付 の種類 ※セメン	ゲー工法 ・高圧水洗工法 はく離剤工法 ・水洗い工法 比上面全体 ・図示による レト系下地調整材 マーセメントモルタル	05 アルミニウム 製建具	アルミニウム製建具の性能 耐風圧性 気密性 ・外部 ・A種 ※S-4 ※A-3 ・B種 ※S-5 ※A-3 ・C種 ※S-6 ※A-4 ・ ・ ・	(5. 2. 2) 水密性 ※W-4 ※W-4 ※W-5
げ 06 ロックカール 吹付け	・セント系 :: 仕上塗材は、1 :: 改修を参照する 吹付け材の種類 ・一般用 :: ロックウール及	※10.0mm ※10.0mm は章 外壁改修工事の 塗り仕上げ外壁等の っこと。		※モルタル塗り仕上げ外島 ・モルタル塗り替えコ 材料 ・現場調合材料 ・既製目地材 形: 工法 モルタル塗厚が 2: ・アンカービン 材料 アンカービン 材料 長 注入口付アンカー	Eルタル ①ポリマーセメントモルタル 壁の場合はポリマーセメント(4.3.7(3))による 工法		種別 後層 (仕上途材	JIS A6909によ 種類(呼び名) ・ 液層塗材 ・ ② E・RE・C1 ・ ・	- 凹凸状 E)	06 樹脂性建具	・屋内	(5. 2. 3) (5. 6. 3) ・) (5. 2. 4) (5. 4. 4) ぶによる。 (5. 2. 4) (5. 2. 5)
の種類	コンクリート・ひび割れ部改修・欠損部改修工法・欠損部改修工法			注入 ・注入口付全面エポキシ樹朋	アンカーピン 本数(本/㎡) 注入口箇所数 (箇所/㎡) 充填量 注入量 (m 1) 一般部 指定部 一般部 指定部 (m 1) ※ 25 ※ 25 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25 ※ 33 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25 ※ 13 ※ 20 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25		樹脂 外観 (溶媒 機能性 (・アクリル系 ・ソリカ系 ・ンワウル系 ・ソリカ系 ・⑦やあり ・つや ・溶剤系 ・弱溶 ・弱溶 ・透湿性 ●助か 指定(※あり (・図示による)	/801 #44 744. E	・C種 ※S-6 ※A-4 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	*W-5 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	◆○ひび割れ部改修工法◆○欠損部改修工法◆「浮き部改修工法	●Uカットシール材充填工法 ・シール工法		適用 (・0.25㎡超え・	正法 ・タイル張替え工法 (4.4.5)(4.4.7)(4.4.8)(表4.4.4)	04 マスチック 塗材塗り	有機化合物 ・外壁用等は仕上げ途野が 仕上げ途野様 ・マスチック塗木	対策による 膜防水材はJIS 以下による 状の耐候性(・ 衝材(・あり 才塗り	・なし) (4.6.2)	(07) 鋼製建具	鋼製建具の性能	※W-1 ・ のいずれかとする (5.4.3)(5.6.3)
	●浮き部改修工法			タイルの品質はJIS A5209に 形状寸法 (mm) 227×60 ①I類 (50×50 · II類 (11) 50×50 · II類 (11) 参考 吸水率による区	 和薬 役物 耐凍害性 耐滑り性 色 ○施 ・有 ○有 ・0.4 ○標準 ・ 無 ・ 特注 区分は、I類は旧規格の磁器質、II類は類は陶器質にほぼ該当する。 ○行わない) (4.4.8) 	塗が	使用iコンクリート、押出成モルクル、ALCハーネルi	対型セメント板 ・A種	り種別 下地調整種別 ・B種 ・RA種 ※RB種 ・RC種 調整はRB種とする	08 鋼製軽量建具	(※HL・) 鋼製軽量建具の性能	※指定なし ・ が - 鋼板) (5.5.3) (5.4.3)(5.6.3) 1 ・) □(5.5.4)(5.4.4) の材質 (5.5.3)
(一 財)	札 幌	市住宅管理公社	令和 年	月日	J172- 64- /			工事名図面名	豊平若者活動センター外部改修 特記仕様書 5	 	籍	図番 A-05

									公社建築 2025.04
09 ステンレス製 建具	ステンレス鋼板	16 軽量シャッター	スラット (5.12.3) 材質 めっき付着量	13章 内装改	を 工事			08 造作用単板積 層材	ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合 物対策による。 □ (6.5.2)
	仕上(※HL・) 曲げ加工(※普通曲げ ・角出し曲げ)		・JIS G3312(塗装溶験亜鉛トット乳板及び鋼帯) ※206 ・P06 ・JIS G3322(塗装溶験55%7ルミ=ウムー亜鉛合金メット鋼板及び鋼帯) ※AZ90	01 他の部位との 取り合い等	壁及び床の	の改修範囲	伴う当該壁に取り合う天井、 上げに準じた仕上げを行う		・造作用単板積層材 規格□(※JAS 0701による ・) 表面の品質
10 網戸	 ・防虫網の材種 (※合成樹脂 ・ガラス繊維入り合成樹脂 ・ステンレス(SUS316)) 線径 (※0.25mm以上 ・) 網目 (※16~18 ・) (5.2.3) 		形状 (※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形) (5.12.4) 開閉方式 (※電動式(手動併用) ・手動式) (5.12.2) 耐風圧強度(・)		・図示に (b) 天井内既 範囲	こよる 存壁の撤去に伴	(6.1.3) う当該壁に取り合う天井の改修 星度とし既存仕上げに準じた仕上		・化粧加工有 (・天然木化粧加工 ・塗装加工) ・化粧加工無 (・1等 ・2等 ・3等) 防虫処理() 施工箇所、寸法は図示による。
11 木製建具	適用箇所は図示による 建具材の加工、組立時の含水率 (※A種 ・B種) (5.7.2)(表5.7.1)	17 オーバーヘッ	工事範囲 電源及び一次側配線は別途電気設備工事として、操作スイッチ及び二次側配線は本工事に含む。 セクション材料(※スチール・アルミニウム・ファイバーグラス)(5.13.2)			- こよる 去に伴う取り合	い部の壁面の改修 ・図示による)	09 床張り用合板 等	JAS 0701以外の製材を用いる場合の適用は図示による。 ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合 物対策による。 □ (6.5.2)
	枠、くつずりの材料 (※図示による・) (5.7.2) ・フラッシュ戸 表面材の合板 (5.7.2)(表 5.7.2) 合板の種類 表面材の品質等 備 考	ドドア	耐風圧性能区分(JIS A4715) (・50 ・75 ・100 ・125) 開閉方法(※バランス式 ・チェーン式 ・電動式) 収納形式 (・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形) ガイドレール (※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス (SUS304)) (5.13,3)	(2) 既存床の撤去 並びに下地補修	(1) ビニルル 浮き音	床シート等の除	地モルタルの撤去		・普通合板 (日本農林規格による) 厚さ (※5.5mm) 接着の程度 (※1類 ・) 板面の品質 ・広葉樹 (※2等 ・) ・針葉樹 (※C-D ・) 単板の樹種名 ()
	・普通合板 接着の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上		工事範囲 電源及び一次側配線は別途電気設備工事として、 操作スイッチ及び二次側配線は本工事に含む。		(•		・目荒らし工法)		・防虫処理 施工箇所、寸法は図示による。 ・構造用合板 (日本農林規格による)
	板面の品質 ※広葉樹 1 等 ・	(18) ガラス	適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは図示に よる。 ○網入り板ガラス及び線入板ガラス	(03) 既存壁の撤去 並びに下地補修		(※モルタル塗	の構造体の補修 り ・図示による) (6.3.2) 下地 ・木製壁下地) (6.1.4)		厚さ (※12mm ・) 接着の程度 常時湿潤状態の場合 (※特類 ・) その他の場合 (※1類 ・)
	・MDF 表裏面の状態による区分 () 曲げ強さ () () 接着材による区分 () 離燃性による区分 ()		網又は線の形状 (・角網 ⊙菱網) 板の表面の状態 (⊙磨き ・型板) ・合わせガラス 特性による種類 (・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類)	(4) 既存天井の撤 去並びに下地補修	(⊙既存 ⁻ 新設天井下地	<u>tı</u>	○下地材を含めて撤去) (6.4.2)・木製天井下地) (6.1.4)		等級 (※2級 ・) 板面の品質 (※C-D ・) 単板の樹種名 () 保存処理 ()
	表面板の厚さ (※表5.7.6による・) (5.7.3) 引戸の定規縁 (・いんろう付き) (5.7.4)		・強化ガラス 形状による種類 (・平面 ・曲面) 特性による種類 (・Ⅰ類 ・Ⅲ類) ・熱線吸収板ガラス	05 木材	間仕切り軸組	区(・A種 目に用いる木材の 5木材の種類(・防虫処理 ・強度等級の指定(施工箇所は図示による。
	・かまち戸 □(5.7.2) 樹種 かまち (※図示による・) 鏡板 (※図示による・) 見込み寸法 (※36mm ・図示による)		性能による種類 (・1種 ・2種) ・複層ガラス 断熱性による区分 (・T1・T2・T3・T4・T5・T6) 日射取得性及び日射遮蔽性による区分 (・G・S) 乾燥気体の種類 (・空気 ・アルゴン ・クリプトン・ネオン)	06 製材		(※JAS1083- (・1級 ※	·		・パーティクルボード(JIS A5908による) 厚さ (※15mm ・) 表裏面の状態による区分 (・) 曲げ強さによる区分 (・13 ・) 耐水性による区分 (・MR1(M) ・MR2(P))
(12) 建具用金物	合板、接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。 (標16.7.2)		・熟線反射が ^{7,7} 日射熱遮蔽性及び耐久性による区分 (・1種 ・2種 ・3種) 耐久性による区分(・A類 ・B類)		保存処理 施工箇所、 ・造作用製材	(寸法は図示に。			難燃性による区分 (・難燃 2級 ・難燃 3級 ・普通) 施工箇所、寸法は図示による。 ・構造用パ ネル (JAS 0360による)
[2] 是采用亚初	(5.8.2) 金物の取付位置等は図示による。 (5.8.3) 鍵の製作本数(※監督員との協議による・) (5.8.4)	(19) ガラスの留め			等級□ 含水率 保存処理	(·上小節 (·	· 小節 ·)))	10 接合具等	施工箇所、寸法は図示による。 ・造作材の化粧面の釘打ち (※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち
	マスターキー (・製作する ・製作しない) (5.8.4) ↑ * ラント* マスターキー (・製作する ・製作しない) (5.8.4) ・ 樹脂製建具丁番(※表5.8.3による ・図示による)		・が ス タット(・ グ レイジ ング チャンネル ・ グ レイジ ング ビート) 鋼製及びステンレス製 ※シーリング材 木製 ・ 木製建具用パテ ※押縁		樹種□	(※JAS 1083 (1等 ・2等)		・釘頭現し) (6.5.3) ・諸金物の形状・寸法・材質 (※6.5.3(2)(7)による ・図示による)
13 自動ドア開閉 装置	(5. 8. 2) (5. 9. 2) (表5. 9. 1) (表5. 9. 2) 開閉方式 種類 備考		樹脂製		保存処理	(※10%以下 (寸法は図示に。)	(11) 接着剤 12 防腐・防蟻	ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による。 (6.5.3) ・薬剤の加圧注入処理 (6.5.5)
	・片引き ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・引分け ・DSLD-1 ・DSLD-2 ・車椅子使用者 ※表5.9.2による		防火設備に使用するガラスの留め材は、建築基準法に基づき 定められ、又は認定を受けた条件による。 また、外部に面する複層、合わせ、網入り及び線入りガラス	07 造作用集成材		デヒド放散量等に	3場合の適用は図示による。は1章 一般事項 揮発性有機化合 (6.5.2)	処理	適用部材 性能区分 ・K2 ・K3 ・K4 ・薬剤途布
	用便房出入口 ・	20 ガラスブロッ	には、グレイジングチャンネルを用いない。 (5.14.2)		・造作用集成 規格□(※	戊材 ≪日本農林規格↓	こよる ・)		適用部材 処理の方法 ※薬剤の製造所の仕様による
	引戸用検出装置の種類 (※図示による・) 防錆の適用 (・有 ・無) 凍結防止措置の適用 ()	ク積み	・正方形 ・125×125 ・160×160 ・200×200 ・320×320 ・別7 ・長方形 ・250×125 ・320×160 ・乳白 力骨(※SUS304 径5.5mmはしご形状複筋及び単筋			ii ())	13 防虫処理	・薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理・合板等の加圧注入による防腐、防蟻処理適用箇所 (※ラワン・・)□ (6.5.5)
14 自閉式上吊り 引戸装置 15 重量シャッ	自閉式上吊り引戸装置の性能(※表5.10.1による) (5.10.3) 機能による種類は図示による (5.11.2)		・図示による) 化粧目地モルタルの色 (・・) シーリング材の種類(※8章 シーリングによる・・) ・壁用金属枠及び補強材 形状等は図示による				こよる ・)		ラワン材等を使用する場合はJAS 1083-6の保存処理K1とする。
ター			・金属製化粧カバー 材質、寸法、形状等は図示による ・建築基準法に基づき定まる風圧力に応じた工法とする (5.14.5) 目地幅の寸法、伸縮調整目地の位置(・図示による ※5.14.5による)		化粧薄板の 見付け材面 見付け材面 施工箇所、	面 (面の品質 (寸法は図示に。)) ・特等 ※1等 ・2等)		
	スラット及びシャッターケース用鋼板 (5.11.3) 材質 めっき付着量 ・JIS G3302(溶験亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯) ※Z12 ・F12 ・ ・JIS G3312(塗装溶融亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯) ※Z12 ・F12 ・		日地部の力骨の補強方法(・図示による ※ガラスブロック製造所仕様による)		日子灰作所管	■◇/Ⅰ ▽/ 交替	□・ w勿口∨應川は囚小により。		
	工事範囲 電源及び一次側配線は別途電気設備工事として、 操作スイッチ及び二次側配線は本工事に含む。								図番
()札幌市住宅管理公社	令和 年	月 日			工事名	豊平若者活動センター外部改修	参ほか工事	凶 食
人,知						図面名	特記仕様書 6		縮 尺

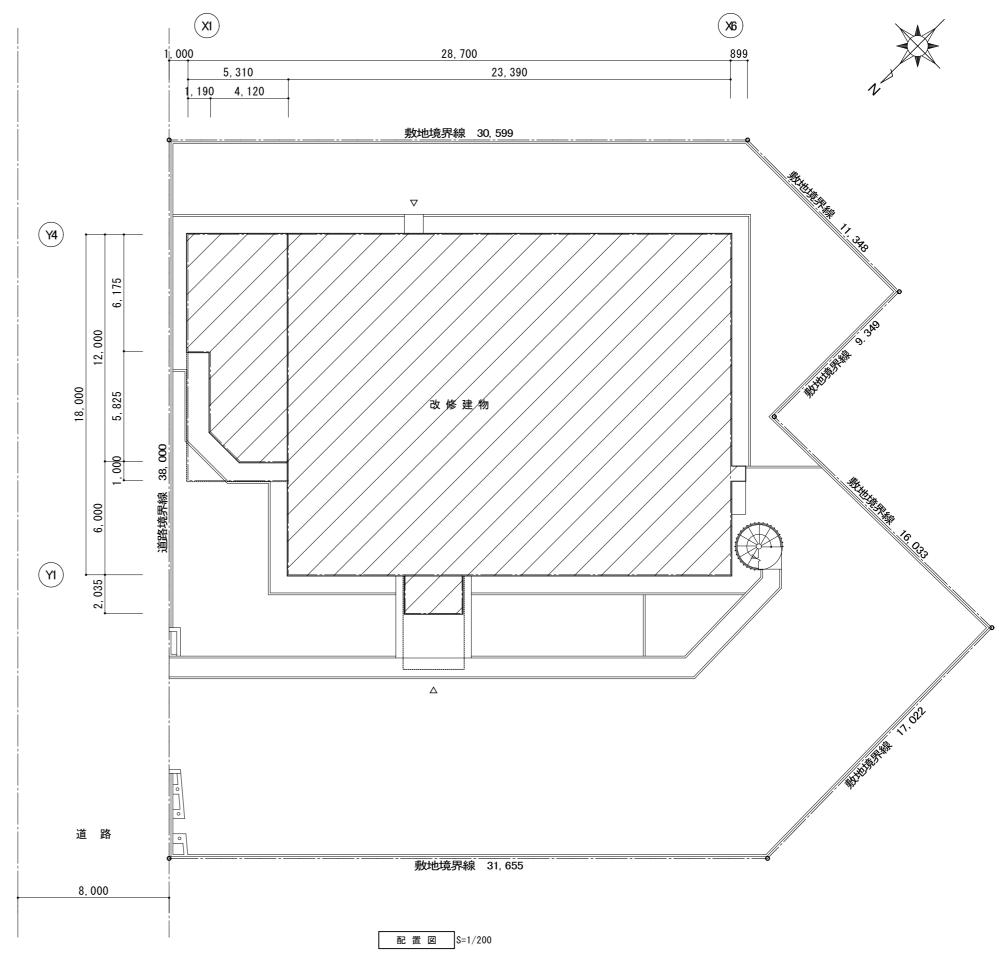
							公社建築 2025.0
14) ビニル床シート張り等	(6.8節) - 品名 種類等 厚さ(mm) 特殊機能	(19) せっこうボード、その他ボード及び合板張り	種類(記号) 種別 厚さ(mm) 備考	②4) 断熱·防露 改修工事	打込工法及び後張り工法の断熱材 JIS A9521による。 (9.3.2) (9.3.4)	04) 錆止め塗料 塗り	鉄鋼面 (7.4節) 下地面等 錦止め塗料の種別 工程の種別
	● 世ニル床シート 種類(※FS・) ※2.0mm ・帯電防止 ・耐動荷重性 ・ 防滑性 ・ 防滑性 ・ 大ビニル床タイル 種類(※KT・) ※2.0mm ・帯電防止 ・ 帯電防止	1 A O D W W Y	せっこうボード (GB-R) 壁 ・9.5 (準不燃) ○12.5 ・15 (不燃) 天井 ○9.5 (準不燃) ・12.5 ・15 (不燃)		材質 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・ピーズ法ポリステレンフォーム 断熱材 ・特号 ・1号 ○ 押出法ポリスチレンフォーム 断熱材 ・3種a		見掛り部分 (新規塗装) SOP DP A種 ※A種 ·B種 ·C種 2,3回目 D種 EP-G ※B種(水系)・A種 ※A種 ·B種 ·C種
	色柄(※無地・) ・3.0mm ・防滑性 ・ゴム床タイル 種類(・) 厚さ(・3mm・4.5mm・) 色柄(・) 寸法(・)		・トラハ*ーチン模様		● ・硬質ウレタンフォーム断熱材 A種 ・1種 ・2種1号		見隠れ部分 SOP A種 ※B種 ・A種 ・C種 (新規塗装) DP 1回目 C種 ※A種 ・B種 ・C種 2,3回目 D種
	・ビニル幅木 ※軟質 厚さ(※1.5mm ・) 高さ(※60mm ・75mm ・100mm) ・視覚障害者用 床タイル 寸法()		・木目模様 (システム下地) ・9.5 ・12.5 ・12.5 ・7.5 ・12.5 ・12.5 ・13.5 ・15		・7ェ/-ルフォーム断熱材 ・1種1号 ・2種1号 フェノールフォーム断熱材又は保温材並びに接着剤のホルム		EP-G ※B種(水系)・A種 ※B種 ・A種 ・C種 塗替え SOP A種 ※C種 ・A種 ・B種 DP 1回目 C種 ※A種(RA)
	・接合部の処理(ピニル床シート張り) (※熱溶接工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(GB-F) シージングせっこう ボード(GB-S) ロックウール化粧 ・15 ・9.5 ・12.5 (準不燃) ○12.5 ・15 (不燃) ・9.0 ○12.0 (不燃)		アルデヒド放散量等は「1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (9.3.2) (9.3.4) 現場発泡工法の断熱材は JIS A9526による (9.3.3)		2,3回目 D種 E種 ※B種 (RB)・C種 (RC) EP-G ※B種(水系)・A種 ※C種 ・A種 ・B種
	接着剤のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性 有機化合物対策」による 下地の種類は図示による (6.8.2)		吸音板(DR) ・立体模様 ・12.0 ・15 (不燃) フレキンブル板(F) ・6 ・ けい酸カルシウム板 ・普通(※0.8FK) ① (入比粧(着色) ・穴あけ				亜鉛メッキ鋼面 (7.4節) 下地面等 錆止め塗料の種別 工程の種別 鋼製建具等 SOP ※A種 ・B種 ※A種 ・B種 ・C種
15 カーペット 敷き	(6.9節) 種類 種別、寸法(mm)等 ・織じゅうたん ・A種 ・B種 ・C種 ・ルーブパイル ・カットパイル		木毛セメント板 ※難燃 ・断熱 ・20 ・25 合板		従い十分に行う。 その他の断熱材		(新規塗装) DP B種 EP-G C種 ※A種 ・B種 ・C種 上記以外 SOP ※A種 ・B種 ・A種 ・C種 (新規塗装) DP B種 (表7.4.6)
	色柄 (※模様のない無地 ・) ・クフテッドカーペット ※全面接着 ・ルーブパイル パイル長さ ・グリッパー ・カットパイル (・) ・ニードルパンチカーペット ・ラバー付 ・ラバー無 厚さ(・)		種類 樹種(加工方法) 厚さ(mm) 処理 ・普通合板 ・防虫 ・天然木化粧合板 ・ いち虫 ・特殊加工化粧合板 ・ いち虫		材質 厚さ(mm) 施工箇所 規格 ①グラスウール ・16K品(・高性能) ①24K品(・高性能) 200 音楽室 JIS A9521 ・		EP-G C種 ※B種 · A種 · C種 塗替え SOP ※A種 · B種 ※C種 (RB) ・A種 (RA) · B種 (RA) · B種 (RA)
	・タイルカーペット ※1種 ※ループパイル 寸法(※500角 ・) ・カットパイル 厚さ(※6.5 ・)		MDF、パーティクルボード、合板、接着剤のホルムアルデヒド 放散量等は「1章 一般事項 揮発性有機化合物対策」による (6.13.2)		ホルムアルデヒド放散量等は「1章 一般事項 揮発性有機 化合物対策」による		DP B種 (表7.4.6) EP-G C種 ・C種 (RB) ・A種 (RA) ・B種 (RA)
	・帯電防止(3kV以下) 94ルカーベットの敷き方(※6.9.3による ・図示による) 見切り、押え金物の材質、種類及び形状は図示による グリッパー工法の下敷き材(※反毛フェルト第2種第2号、呼び厚さ8mm) 下地の種類は図示による		合板の張付け(・A種 ※B種) 合板の表面性能() 接着の程度() せっこうボードの目地処理(・継目処理・突付け・目透かし) 継目処理のエッジの種類(・テーパエッジ ・ペベルエッジ) 突付け、目透かしのエッジの種類(・ベベルエッジ・スクェアエッジ)			(05) 塗装	(7.4節 塗 装 塗り種別 SOP 木部(新規塗装) 屋外 ※A種 ・B種 ・C種
	接着材のホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性 有機化合物対策」による (6.9.3)	20 吸音材	吸音材の材質、工法(JIS A6301) 材種 品質・規格 厚さ(mm) ・ロックウール吸音材 ※ロックウール吸音ボード1号 ・25 ・50 ・40	14章 塗装改	文修工事 ホルムアルデヒド放散量等は1章 一般事項 揮発性有機化合物対策による (7.1.3)		A
16 合成樹脂塗床	床仕上げ 床材 表面仕上げ						

15章 ユニット及びその他工事		10 煙突ライニン	煙突用成形ライニング材 安全使用温度	度 ℃ (標20.2.13)	16章 環境酯] 虚改修	工事		04) 石綿含有成形 55 の除土	
○1 フリーアクセスフロア ・震動き式 ・支柱調整式 ・支柱调整式 ・クイルカーペット パネル寸法 (高さ (床仕上げ材含まない) 耐震性能 (部位については 所定前重性能 ((部位については 所定前重性能 (※20.2.2に JIS A1450による試験 # 5.0mm 耐衝動撃性能 (※20.2.2に JIS A1450による試験 # 5.0mm 耐衝動撃性能 (※ ※残解料又 「水水・ 「・パネ・ で間の仕類 「はの 大型・ で割り方 で割り方 で割り方 で割り方 で割り方 で割している です です です です です です です で	タイプ ・支柱-体型 パオール系 ・有機質 ・無機質系) ル床タイル ・カーペット ・ホモジニアスビニル床タイル)) (mm) (mm) (gg Ks (・1.0 ・0.6) 図のの (mm) (pg Ks (・1.0 ・0.6) 図示による) (mm) (pg Ks (・1.0 ・0.6) 図のい・	グ 11 プラインド	・図示による プラインドの形式 形式 ※模型プラインド 材種 ※アルミニウム合金 開開方式 ※ギアー式 ・コード式 スラツトの形状・幅 ※ 25型 ・ 型 操作方式、幅、高さ、材種、品質等 ※ カーテンレール レール及びプラケットの強さによる区 材種 (・ステンレス製 ・アル	(標20.2.14) ・縦型ブラインド ※アルミニウム合金 ・クロス (標20.2.15) (標20.2.16) (禁20.2.16) ※ 10-90 ・10-60) ミニウム製 合金の押出し成型材) 形) ルボード及び接着剤	16章 環境 (1) の事 (1) の事項 (1) の事項 (1) の事項 (2) 吹の除去 (2) 吹の除去	石 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (6) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	は、おきぼ、事有相、業有17石成と、業有とた除健と、理は廃資監事、び物い、果じ、工い、及び、処置理骸分石搬、た管し、放きで、業様、に、食物で、主建年綿18寸、者建い者去康す、産石栗格はを、提の場合、 おれた、者の生業月、の)す業断。 原含処有元以、 は理督方防施綿出、石すて、と、で、おり、大き、で、おり、大き、で、おり、大き、で、おり、大き、で、は、大き、で、は、大き、で、、、、は、で、、、、、、、、、、、、、、	●図示による)(ヶ所) 「なものでは、 ヶ所) 「なものでは、	(04) 石綿のの除名素 石綿のの除名素 の6 外事	石綿含有成形板等の仕様 ・
幅 (・40mm ・30mm 取付工法(・接着材併用カールブ が種 (※ステンレス・アンカー (※間隔500m	・35mm) * ラグ止め ※埋め込み ・) (標20.2.8) mm程度 ・) 焼付け ・)(標20.2.9) 緑 ・)					事前に (a)処 (b)飛 (c)処 (3)除却し 内に保別	工監督長と協議 理財防止 会議 会議 会議 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会	すること。 け処理 [二重袋梱包] ・tメント固化) ※湿潤化 ・固形化) (調書を監督員に提出する) け材 型理場 (手稲区手稲山口364) けけ材を搬出するまでの間、現場 一定の保管場所を定め、他の内装材		通気層: ・有(厚さ)・無 外装材の取付方法(※あと施工アンカー等 ・) 外装材の施工(断熱材の施工: 不陸等の下地調整((※断熱材製造所の仕様による ・)
08 鏡 厚さ (※5mm · m	m) (標20.2.10)					置を講 また、	, - 0	廃石綿等の保管場所であることの		
8 表示板の種類 種類 材質・寸法 厚さ(mm) 印刷: ・室名札 ・アクリル板(4.0) ※シルケ: ・ピクト ・アクリル板() ※シルケ: グラフ ・ ・案内板 ・アクリル板() ※シルケ: ・ガラススクリーン対人衝突	(標20.2.11) 等の種類 色彩 書体 取付形式 スクリーン印刷・透明・太コ・シック・正面型・側面型 スクリーン印刷・透明・太コ・シック・正面型・側面型 スクリーン印刷・透明・太コ・シック・正面型・側面型 スクリーン印刷・透明・太コ・シック・正面型・側面型 に関節止表示の材質、形状、寸法 ※図示による・・)				(03) 石綿含有保温 材等の除去	表示を・(1)除去の(※粉じん)・(※粉じんど)・(2)除去式え (2)除土物 力また、(2)除土また((a) 処理 た、(b) 処・(b) 処・(b) 処・(c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c)	行う。 工法 北表 北表 北表 北表 北京 北京 北京 北京 北京 北京 北京 北京 北京 北京	(9.1.4) で湿潤化後除去 [手ばらし] 法) 連 おりとする。 いては、受入条件等を確認の上、 すること。 け処理 [二重袋梱包] ・tメント固化) (調書を監督員に提出する)		FO7 345
	字 答 珊 八 4	令和 年	月日				工事名	豊平若者活動センター外部改修	冬ほか工事 	図 番
(一財) 札幌市住	七百连公任						図面名	特記仕様書 8		縮 R

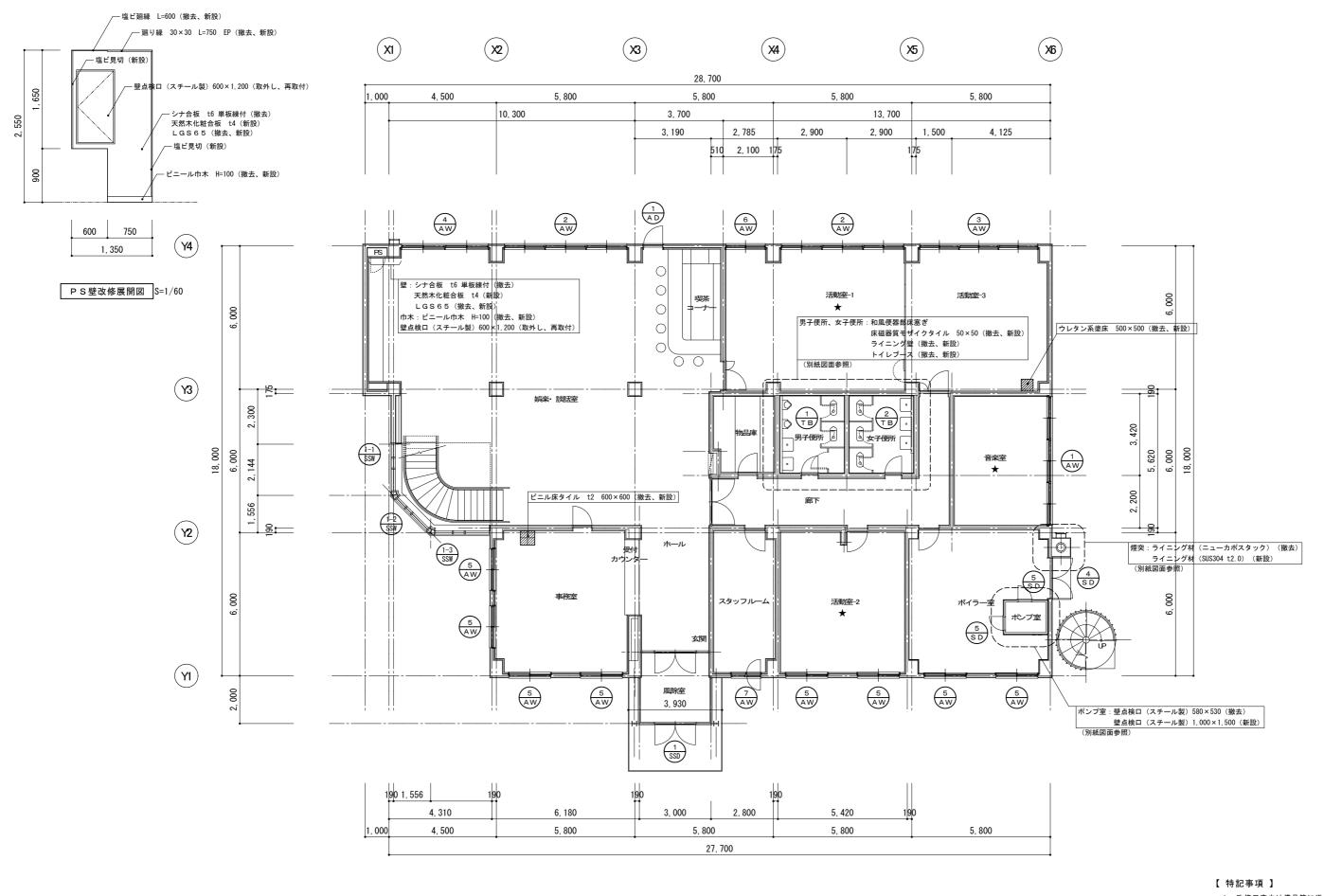




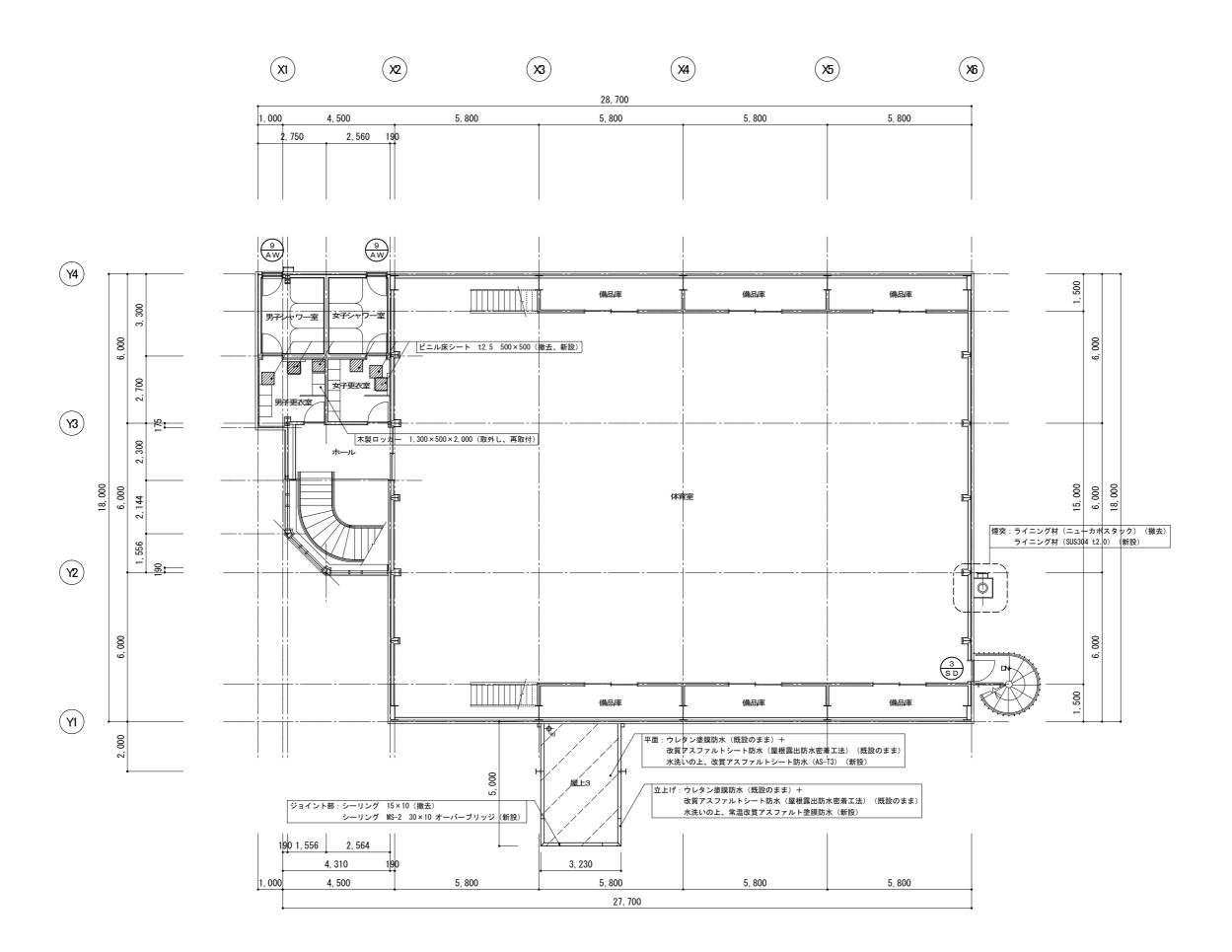
付近見取図



	管理建築士:	佐久間 清尚			特	#E	工事	名称	図面名称	設計年月日	図面番号
有限会社 佐久間設計	一級建築士大	臣登録168408号							付近見取図、配置図		A-09
Architects Design Office	検図	製図	検図	製図				豊平若者活動センター外部改修ほか工事			
一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 札岬市北区北24条西4丁目1番5号					- 1		_		縮尺 1/200	区分	
化统印北区北24米四年1日1亩0号									1/200		



- 改修工事中は備品等に汚れが付かないよう ビニールシート等により養生をおこなうこと。
- 2. 施設内の養生清掃等常時行うこと。
- 3. ★ は揮発性有機化合物の室内濃度測定箇所 (測定は工事施工前、施工後各1回)
- (別たは工事施工制、施工後台「四) 4. ビニール床タイルはアスベスト含有とする。
- 4. ヒニール床タイルはアスペスト含有とする。

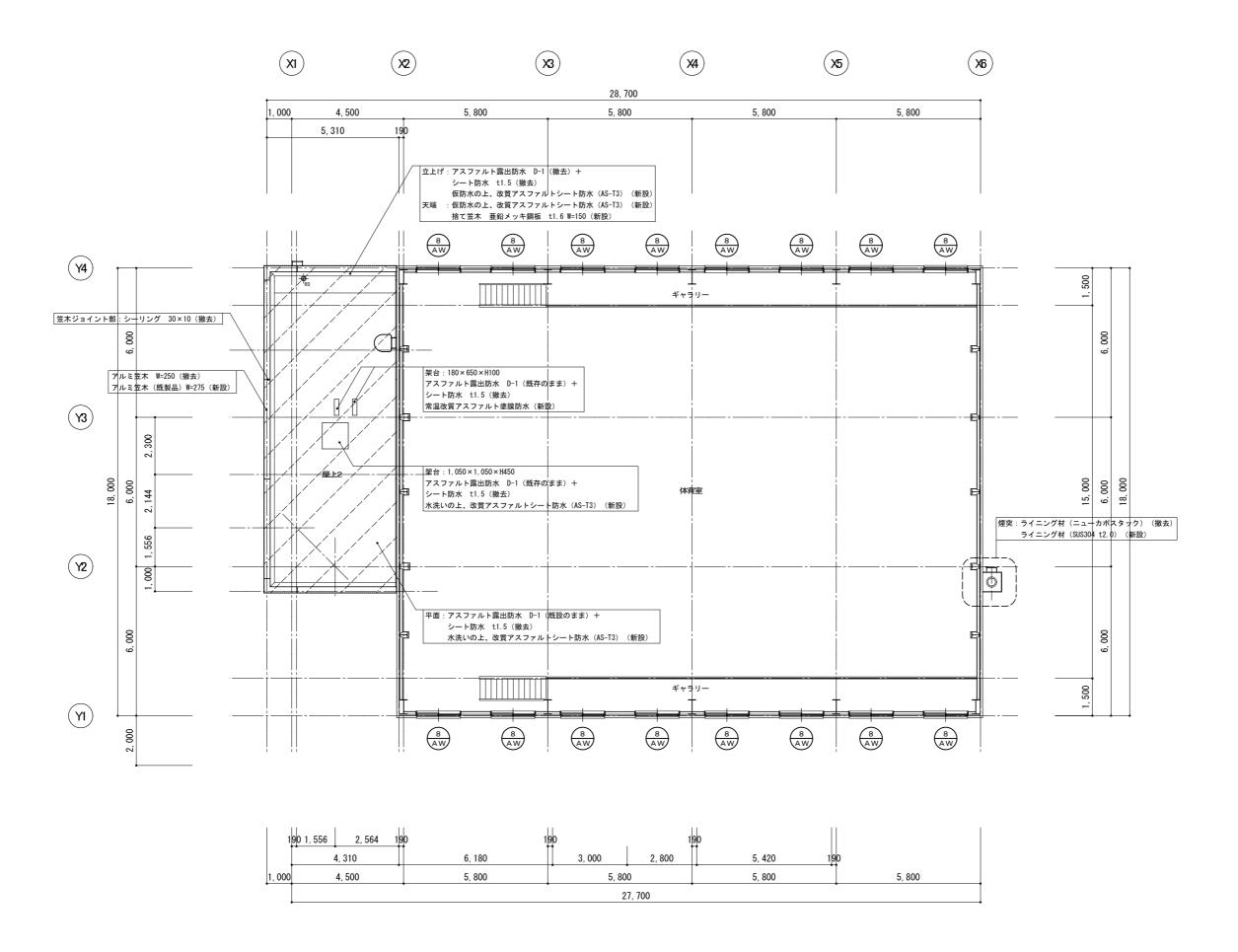


	有	限	会	社	佐	久	間	設	計
-1	Aro 級建築				Office 北海道		録(石	第5	207号
札	視市北	区北:	24\$	€西 4	丁目1	番5号			

一級建築士大臣			
検図	製図	検図	製図

			14 KC	工学也特	
8号					
	検図	製図		<u> </u>	豐雪

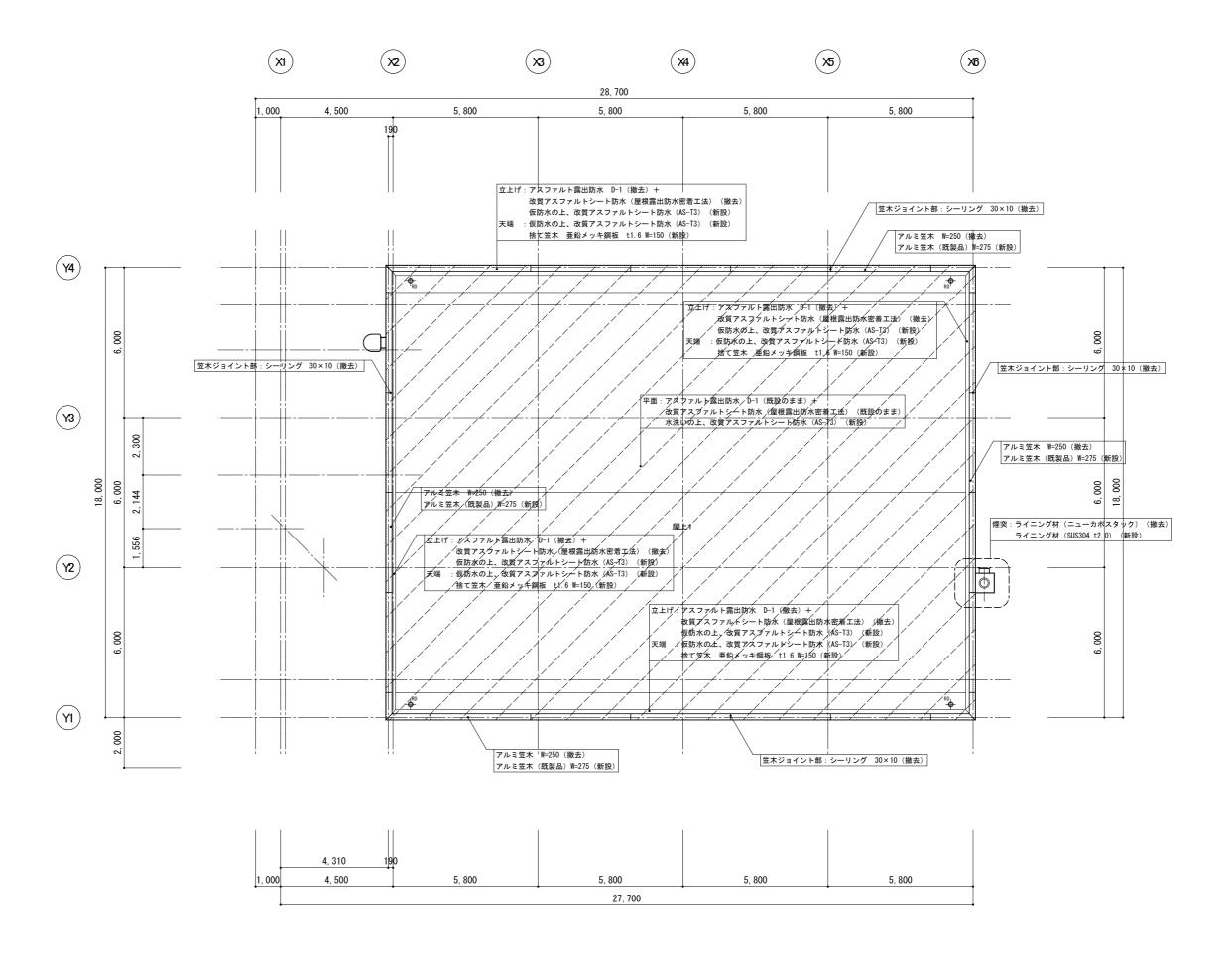
[※] R D は金属製ルーフドレンキャップ(撤去)、 改修用ルーフドレン(新設)とする。※ 既存ルーフドレン洗浄を第一桝までおこなう。※ ビニル床シートはアスベスト含有とする。



※ R D は金属製ルーフドレンキャップ(撤去)、 改修用ルーフドレン(新設)とする。※ 既存ルーフドレン洗浄を第一桝までおこなう。※ 仮防水はポリマーセメント系とする。

有限会社 佐久間設計 一級建築士大臣登録168408号 ギャラリー、屋上2平面図 A-12 豊平若者活動センター外部改修ほか工事 Architects Design Office

一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号
札幌市北区北24条西4丁目1番5号 1/150



※ RDは金属製ルーフドレンキャップ(撤去)、 改修用ルーフドレン(新設)とする。

※ 既存ルーフドレン洗浄を第一桝までおこなう。 ※ 仮防水はポリマーセメント系とする。

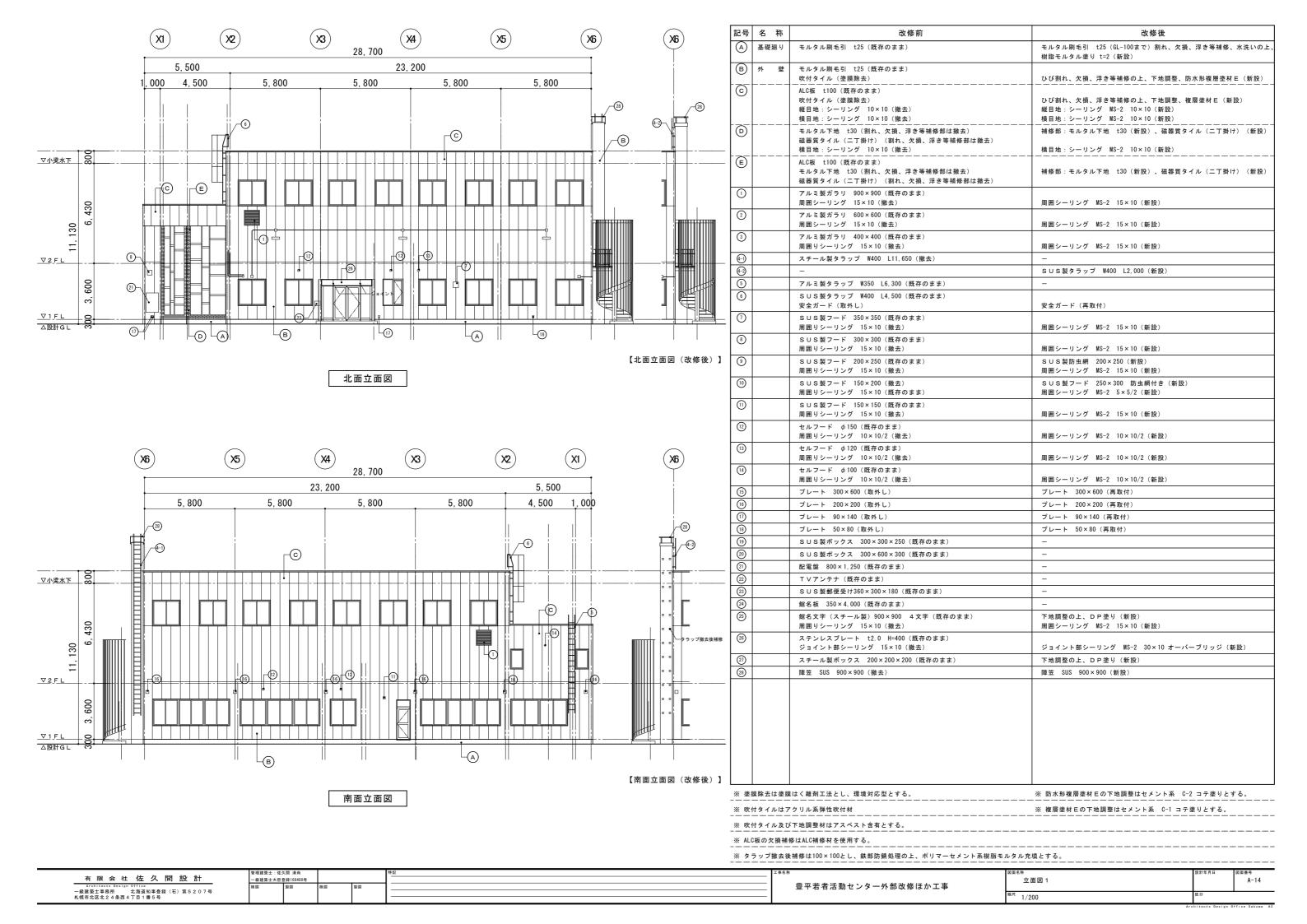
有限会社 佐久間設計 Architects Design Office
一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 札幌市北区北24条西4丁目1番5号

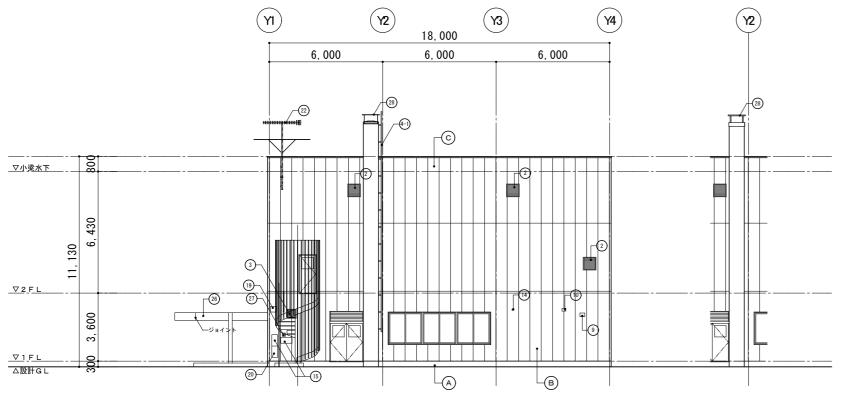
一級建築士大臣登録168408号

豊平若者活動センター外部改修ほか工事

屋上1平面図 1/150

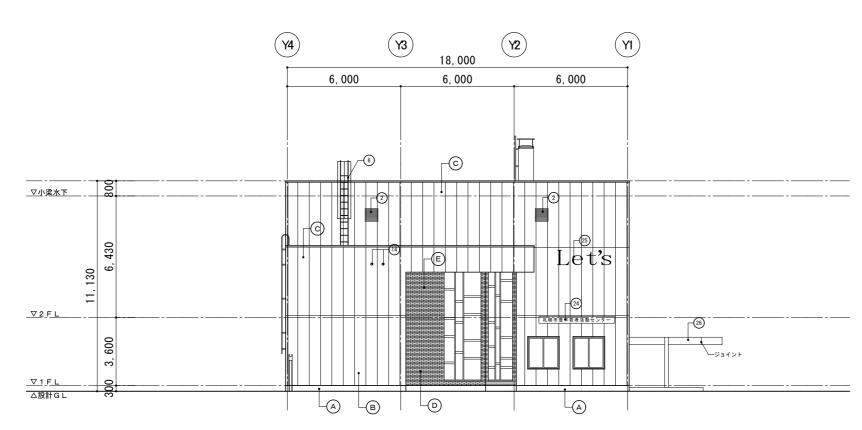
A-13





【西面立面図(改修後)】

西面立面図



東面立面図

記号	名 称	改修前	改修後
A	基礎廻り	モルタル刷毛引 t25 (既存のまま)	モルタル刷毛引 t25 (GL-100まで) 割れ、欠損、浮き等補修、水洗いの。 樹脂モルタル塗り t=2 (新設)
В	外 壁	モルタル刷毛引 t25 (既存のまま) 吹付タイル (塗膜除去)	ひび割れ、欠損、浮き等補修の上、下地調整、防水形複層塗材E(新設)
<u>©</u>		ALC板 t100 (既存のまま) 吹付タイル (塗膜除去) 縦目地:シーリング 10×10 (撤去) 横目地:シーリング 10×10 (撤去)	ひび割れ、欠損、浮き等補修の上、下地調整、複層塗材 E (新設) 縦目地:シーリング MS-2 10×10 (新設) 横目地:シーリング MS-2 10×10 (新設)
0		モルタル下地 t30 (割れ、欠損、浮き等補修部は撤去) 磁器質タイル (二丁掛け) (割れ、欠損、浮き等補修部は撤去) 横目地:シーリング 10×10 (撤去)	補修部: モルタル下地 t30 (新設)、磁器質タイル (二丁掛け) (新設) 横目地: シーリング MS-2 10×10 (新設)
Ē		ALC板 t100 (既存のまま) モルタル下地 t30 (割れ、欠損、浮き等補修部は撤去) 磁器質タイル(ニ丁掛け) (割れ、欠損、浮き等補修部は撤去)	補修部:モルタル下地 t30 (新設)、磁器質タイル(二丁掛け) (新設)
1		アルミ製ガラリ 900×900 (既存のまま) 周囲シーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10(新設)
2		アルミ製ガラリ 600×600 (既存のまま) 周囲シーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10(新設)
3		アルミ製ガラリ 400×400 (既存のまま) 周囲リシーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10(新設)
(4-1)		スチール製タラップ W400 L11,650 (撤去)	- 100 TO
4-2			SUS製タラップ W400 L2,000 (新設)
<u>5</u>		アルミ製タラップ W350 L6,300 (既存のまま) SUS製タラップ W400 L4,500 (既存のまま) 安全ガード (取外し)	安全ガード(再取付)
0		SUS製フード 350×350 (既存のまま) 周囲りシーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
8		SUS製フード 300×300 (既存のまま) 周囲りシーリング 15×10 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
9		SUS製フード 200×250 (既存のまま)	SUS製防虫網 200×250 (新設)
(10)		周囲りシーリング 15×10 (撤去) SUS製フード 150×200 (撤去)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設) SUS製フード 250×300 防虫網付き (新設)
(1)		周囲りシーリング 15×10 (既存のまま) SUS製フード 150×150 (既存のまま)	周囲シーリング MS-2 5×5/2 (新設)
(12)		周囲リシーリング 15×10 (撤去) セルフード φ150 (既存のまま)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
(13)		周囲りシーリング 10×10/2 (撤去) セルフード φ120 (既存のまま)	周囲シーリング MS-2 10×10/2 (新設)
		周囲リシーリング 10×10/2 (撤去) セルフード ø100 (既存のまま)	周囲シーリング MS-2 10×10/2 (新設)
14)		周囲りシーリング 10×10/2 (撤去)	周囲シーリング MS-2 10×10/2 (新設)
(15) (16)		プレート 300×600 (取外し)	プレート 300×600 (再取付)
\sim \downarrow		プレート 200×200 (取外し)	プレート 200×200 (再取付)
17		プレート 90×140 (取外し)	ブレート 90×140 (再取付)
18		プレート 50×80 (取外し) SUS製ポックス 300×300×250 (既存のまま)	プレート 50×80 (再取付)
20		SUS製ボックス 300×600×300 (既存のまま)	
(21)		配電盤 800×1,250 (既存のまま)	
		T V アンテナ (既存のまま)	
23		SUS製郵便受け360×300×180 (既存のまま)	
_			
24 25		館名板 350×4,000 (既存のまま) 館名文字 (スチール製) 900×900 4 文字 (既存のまま)	ー 下地調整の上、DP塗り(新設)
26)		周囲りシーリング 15×10 (撤去) ステンレスプレート t2.0 H=400 (既存のまま)	周囲シーリング MS-2 15×10 (新設)
27		ジョイント部シーリング 15×10 (撤去) スチール製ボックス 200×200×200 (既存のまま)	ジョイント部シーリング MS-2 30×10 オーバーブリッジ (新設)
28			下地調整の上、DP塗り(新設) 陣笠 SUS 900×900 (新設)
※ 塗ま	莫除去は塗膜	はく離剤工法とし、環境対応型とする。	※ 防水形複層塗材 Eの下地調整はセメント系 C-2 コテ塗りとする。

※ 吹付タイルはアクリル系弾性吹付材

※ 複層塗材Eの下地調整はセメント系 C-1 コテ塗りとする。

※ 吹付タイル及び下地調整材はアスベスト含有とする。

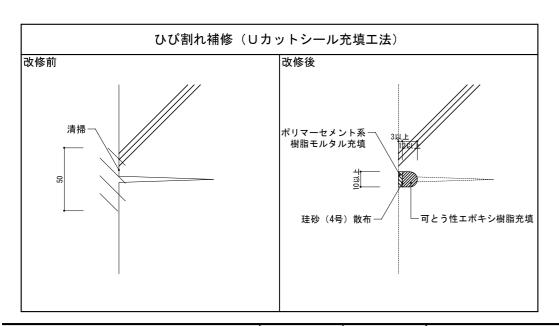
※ ALC板の欠損補修はALC補修材を使用する。

※ タラップ撤去後補修は100×100とし、鉄部防錆処理の上、ポリマーセメント系樹脂モルタル充填とする。

	管理建築士:	佐久間 清尚			1	特記	I.	事名称	図面名称	設計年月日	図面番号
有限会社 佐久間設計	一級建築士大	· 臣登録168408号	- 1		- 1		_		立面図 2	1	A-15
Architects Design Office	検図	製図	検図	製図	\neg		_	豊平若者活動センター外部改修ほか工事			
一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号	1				- 1		$\equiv 1$		縮尺 1 /000	区分	
札幌市北区北24条西4丁目1番5号									1/200		

■ 外壁調査集計表 ■

	記号	現。況	改 修 概 要	北面	西面	南面	東面	合 計
	<u></u>	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法	9.0 m	23.9 m	11.3 m	4.3 m	48.5 m
		ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満) (横割れ)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	4.0 m	1.4 m	2.3 m	— m	7.7 m
	^^ m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法	— m	— m	— m	— m	— m
	□ a	欠損部充填(100×100)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	8 か所	4 か所	6 か所	3 か所	21 か所
	□ b	欠損部充填(100×200)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	— か所	1 か所	2 か所	— か所	3 か所
	□ 0	欠損部充填(100×500)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	— か所	1 か所	— か所	— か所	1 か所
	□d	欠損部充填(100×1000)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	— か所	1 か所	10 か所	— か所	11 か所
457								
躯 体 R	⊠ A	鉄筋等爆裂(100×100)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	— か所				
部上	⊠ B	鉄筋等爆裂(100×200)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	— か所				
+ 煙 突	⊠ 0	鉄筋等爆裂(100×500)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	— か所				
部		鉄筋等爆裂 (100×1000)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填	— か所				
	///// m²	モルタル浮き	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	1.35 m²	2.56 m²	2.89 m²	0.32 m²	7.12 m²
	≥ 枚	タイル割れ(二丁掛)	タイル張替	12 枚	— 枚	— 枚	11 枚	23 枚
	枚	タイル浮き(二丁掛)	タイル張替	3 枚	— 枚	— 枚	2 枚	5 枚
	~ m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法	1.5 m	4.0 m	1.9 m	— m	7.4 m
	-^_, m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法	— m	— m	— m	— m	— m
A L C	□ a	欠損部充填(100×100)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填	4 か所	5 か所	7 か所	1 か所	17 か所
板部	□ b	欠損部充填(100×200)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填	2 か所	— か所	3 か所	— か所	5 か所
	□ ∘	欠損部充填(100×500)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填	— か所	1 か所	— か所	— か所	1 か所
	□d	欠損部充填(100×1000)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填	— か所				



	官理建架工:佐夕	人间 海问	ı		11 BC	工學也們
有限会社佐久間設計	一級建築士大臣	登録168408号				I
Architects Design Office	検図	製図	検図	製図		
一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 札幌市北区北24条西4丁目1番5号	'	l	l	l		1 -
札幌市北区北24宋四4月日 番5号		l	l	l		1

■ 外壁改修工事の作業方法

- 1 適用範囲 ※ 樹脂系塗材の除去にかかわる一連の作業は非飛散性アスベストの除去作業として取り扱う。 仕上塗材外壁のうち、次の外壁について適用する。
 - 仕上塗材及び下地調整材にアスベストが含有の場合

2 事前調査(共通)

- (1) 石綿含有建材の事前調査は、発注者より提供するアスベスト調査票及び既存設計図書等の文書により 確認するとともに目視でも実施すること。
 - なお、調査の結果、石綿の含有が判別できない建材が新たに発見された場合は、監督員へ報告し 対応について協議すること。
- (2) 事前調査は、建築物石綿含有建材調査者など一定の要件を満たすものが行うこと。
- (3) 事前調査の結果は、記録として工事完了から3年間保存するとともに、周辺住民及び作業者に見やすい場所に掲示すること。また、発注者へは別途記録をもとに作成した書面をもって報告すること。
- (4) 事前調査等の結果は、あらかじめ電子届又は紙面により都道府県等(大防法)及び労働基準監督 署(石締則)に届け出ること。

3 仮設作業室(上塗材含有;隔離養生なし)

- (1) 足場組立時の壁つなぎの穿孔作業は以下の手順を参考に行うこと。
- ① 必要最小限の面積に環境配慮型塗膜剥離剤(ジウロロメタン、ナフタレンの含有していないもの)を塗布し、湿潤化する。
- ② 湿潤状態を維持しながらスクレーパー等の手工具を用いて塗材を剥がし取り、二重の廃棄物袋に密封する。
- ③ 除去面に飛散防止剤を塗布後、高性能真空掃除機を併用して粉じんの飛散を抑制しながら穿孔する。
- (2) 仮設作業室は、足場側面に養生シートを張ること。
- (3) 床面はプラスチックシートを敷き、天井面にはプラスチックシートを張り、必要に応じて床面及び天井面からの 立上げ、立下げも検討すること。
- (4) 出入口には、保護衣等に付着した粉じんを外部に持ち出さない措置を講じる。(高性能真空掃除機 を用いて保護衣等の表面も吸引すること。)
- 4 保護具 (足場壁つなぎ穿孔、仕上塗材の剥離時及び外壁補修による軽微なはつり作業時)
- (1) 呼吸用保護具 : 取換え式防じんマスク、または使い捨て防じんマスクとする。
- (2)保護衣 : 保護衣または専用の作業服

5 外壁改修方法(上塗材含有、下地調整材有)

5-1 樹脂系塗材の除去

- (1)環境配慮型塗膜剥離剤(ジクロロメタン、ナフタレンの含有していないもの)を塗布し、湿潤化する。
- (2) 湿潤状態を維持しながらスウレーパー等の手工具を用いて塗材を剥がし取り、二重の廃棄物袋に密封する。
- (3) 除去後は目視により樹脂系塗材の取り残しがないか十分に確認すること。なお、取り残しの確認 は、石綿含有建材調査者又は当該作業に係る石綿作業主任者など一定の知識を有する者が行うこと。
- 5-2 樹脂系塗材除去後の外壁補修
- (1) 散水し湿潤化後、電動ピック及び電動ト゚リルによる電動工具作業のほかは、ケレンハンマー、タガネ等による 手ばらしとする。
- (2) 作業中も湿潤状態を保ち、できるだけ粉じんの発生を抑えるよう丁寧に作業する。

6 仮設作業室撤去の手順(隔離養生なし)

- (1) 作業室内を高性能真空掃除機を用いて清掃する。
- (2) 仮設作業室を撤去する。

7 産業廃棄物処理(樹脂系塗材)(共通)

樹脂系塗材

- (1) 非飛散性アスパストとして処分する
- (2) 参考受入先 : 角山開発(株)、(株) アールアンドイー、ニセコ環境(株)

8 届出等(共通)

7スベスト含有の仕上塗材及び下地調整材は届け出対象外の建材であるが、大気汚染防止法、石綿障害予防規則、札幌市特定粉じん排出等作業における飛散防止対策マニュアル(最新版)に基づいた、石綿飛散防止措置を購じる等、適切な作業計画を作成のうえ施工を行うこと。

○外壁改修手順

- ① 指定する外壁面附属物、設備機器等の取外しを行う。
- (取外しの際、7スペスト含有のため、付着した既存塗膜等は水洗い等により除去し適正に廃棄物の処理又は再取付を行う)
- ② 既存外壁仕上塗材を塗膜剥離材工法(環境配慮型剥離剤)により全面撤去し、水洗いを行う。基礎については、水洗いを行う。
- ③ 外壁・基礎等の劣化部を再調査し報告する。(施工数量調査)
- ④ 外壁・基礎 (コンクリート打放し仕上及びモルタル塗仕上) の劣化部を指定する工法により改修する。
- ⑤ 外壁全面の下地調整を行い仕上の塗装を行う。
- 6 指定する外壁面付属物、設備機器の再取付及び更新を行う。

。	^{図面名称}	設計年月日	図面番号
豊平若者活動センター外部改修ほか工事	外壁調査表		A-16
	^{縮尺} NO SCARE	区分	

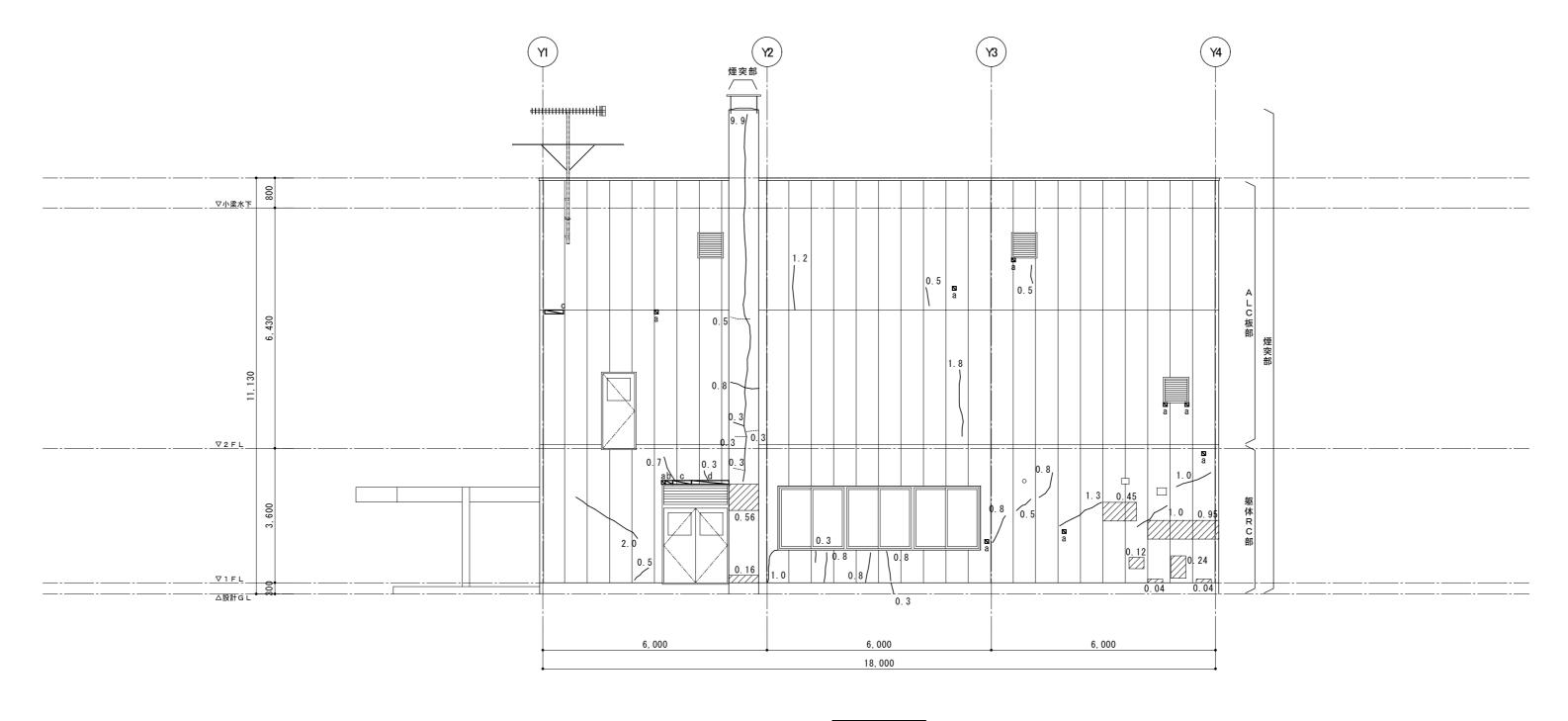


北面立面図

	記号	現 況	改修概要	記号	現 況	改修概要
	~ m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法	☐ a	欠損部充填 (100×100)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
躯		ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満) (横割れ)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	D b	欠損部充填 (100×200)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
体 R	/^_/ m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法	C	欠損部充填 (100×500)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
C 部				□ d	欠損部充填 (100×1000)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
+	⊠ m³	モルタル浮き	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	⊠ A	鉄筋等爆裂 (100×100)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
煙突				⊠ B	鉄筋等爆裂 (100×200)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
部	≥ 枚	タイル割れ (二丁掛)	タイル張替	⊠ c	鉄筋等爆裂 (100×500)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	枚	タイル浮き(二丁掛)	タイル張替		鉄筋等爆裂 (100×1000)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填

	記号	現 況	改修概要
	~ m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法
	′^ m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法
L	☐ a	欠損部充填 (100×100)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
板	□ b	欠損部充填 (100×200)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
部	□ 0	欠損部充填 (100×500)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
		欠損部充填 (100×1000)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填

Architects Design Office - 後速集±18花動センター外部改修ほか工事 現機能な2.4条度も7日1番号線 機器 製器 機器 機器 製器 機器 製器 機器 機器 製器 機器 機器 製器 機器 機器 製器 機器	有限会社 佐久間設計	管理建築士:佐 一級建築士大臣			特記	工事名称	^{図面名称} 外壁調査図 1	設計年月日	図面番号 A-17
	Architects Design Office 一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号	検図	検図	製図				区分	



西面立面図

	記号	現 況	改修概要	記号	現況	改修概要
	~ m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法	☐ a	欠損部充填(100×100)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
躯	^ m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満) (横割れ)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	ь Z	欠損部充填(100×200)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
体R	/^_, m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法	Ö	欠損部充填 (100×500)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
C 部				٥	欠損部充填 (100×1000)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
+	☑☑ m²	モルタル浮き	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	⊠ A	鉄筋等爆裂 (100×100)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
煙突				⊠ B	鉄筋等爆裂 (100×200)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
部	□ 枚	タイル割れ(二丁掛)	タイル張替	⊠ c	鉄筋等爆裂 (100×500)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	枚	タイル浮き (二丁掛)	タイル張替		鉄筋等爆裂 (100×1000)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填

	記号	現 況	改修概要
	<u></u>	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法
	'^ m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法
A			
L	☐ a	欠損部充填 (100×100)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
C 板	□ b	欠損部充填 (100×200)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
部	□ 0	欠損部充填 (100×500)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
		欠損部充填 (100×1000)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填

有限会社佐久間設計 Architecta Design Office - 級接業士を登録1804089 豊平若者活動センター外部改修ほか工事 - 級接業士を登録1804089 豊平若者活動センター外部改修ほか工事 - 機関 製図		管理建築士:	佐久間 清尚			特記	工事名称	図面名称	設計年月日	図面番号
Architects Dealign Office - 根接集主義務所 北海道知事登録(石)第5207号 - 根接集主義務所 北海道知事登録(石)第5207号	有限会社 佐久間設計	一級建築士大	臣登録168408号					外壁調査図 2		A-18
一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号		検図	製図	検図	製図		豊平若者活動センター外部改修ほか工事	·		
1/40		1	1					縮尺 1/40	区分	
	札铣印北区北24架四4月日1番5号							1/40		

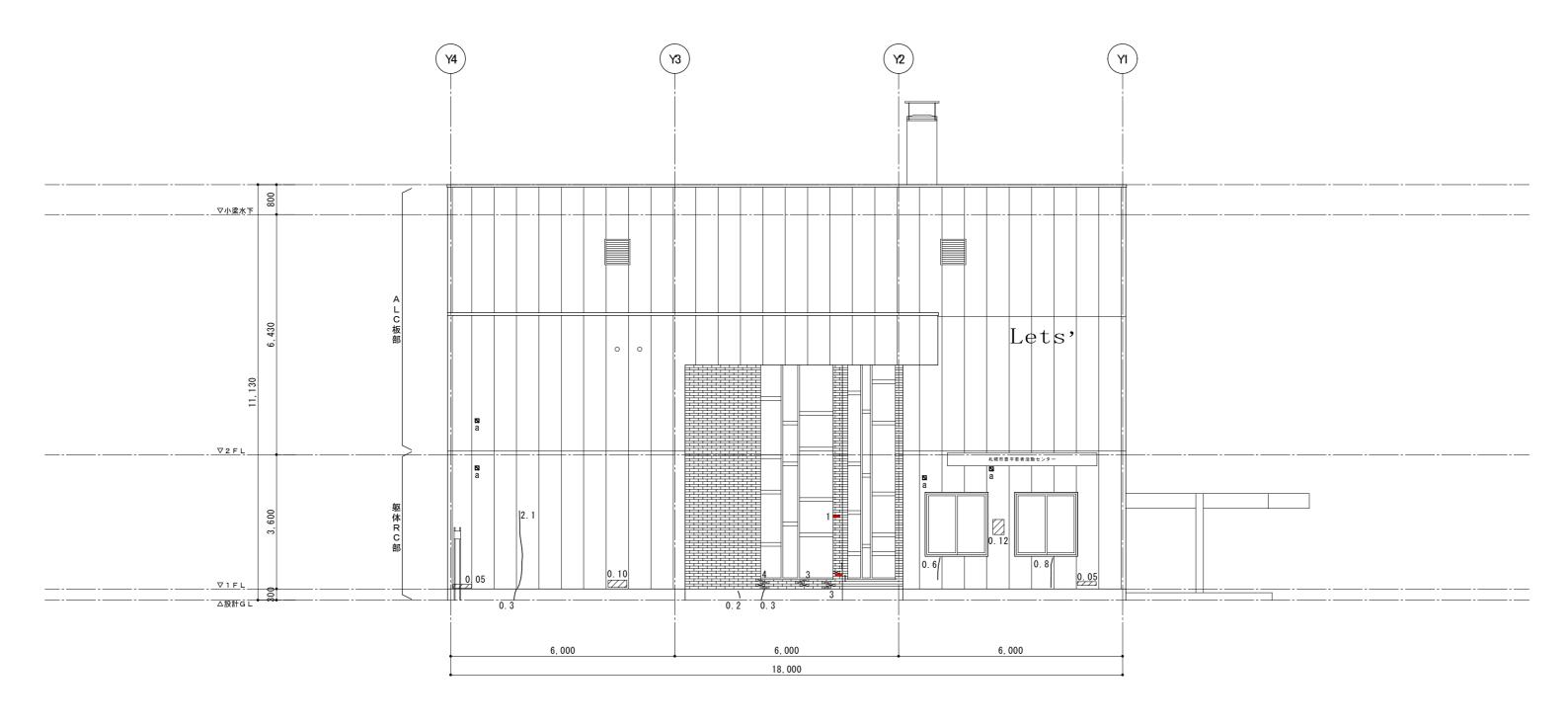


南面立面図

	記号	現 況	改修概要	記号	現 況	改修概要
	<u></u>	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法	☐ a	欠損部充填(100×100)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
躯	m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満) (横割れ)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	□ b	欠損部充填(100×200)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
体 R	/^\/ m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法	o c	欠損部充填 (100×500)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
C 部					欠損部充填 (100×1000)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
+	☑☑ m³	モルタル浮き	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	⊠ A	鉄筋等爆裂 (100×100)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
煙突				⊠ B	鉄筋等爆裂 (100×200)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
部	₩ 枚	タイル割れ(二丁掛)	タイル張替	⊠ C	鉄筋等爆裂 (100×500)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	枚	タイル浮き (二丁掛)	タイル張替		鉄筋等爆裂 (100×1000)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填

	記号	現 況	改修概要
	<u></u>	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法
	′^ m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法
Ľ	☐ a	欠損部充填 (100×100)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
板	□ b	欠損部充填 (100×200)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
部	□ 0	欠損部充填 (100×500)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
		欠損部充填 (100×1000)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填

有限会社佐久間設計 一級建業士大臣登録168408号			外壁調査図 3	1	A-19
Architects Design Office - 板線数性主幕所	製図	豊平若者活動センター外部改修ほか工事	^{総尺} 1/40	区分	

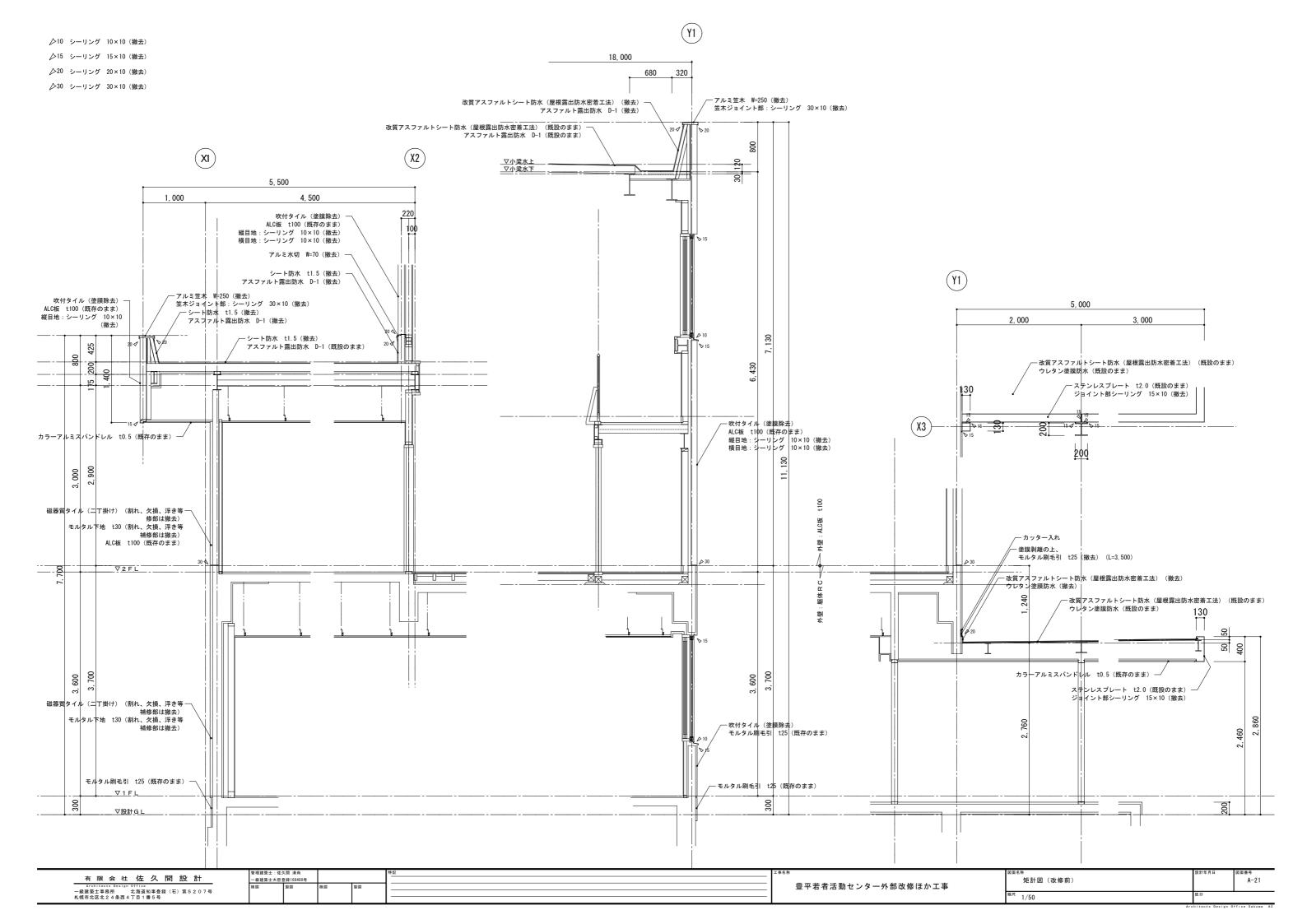


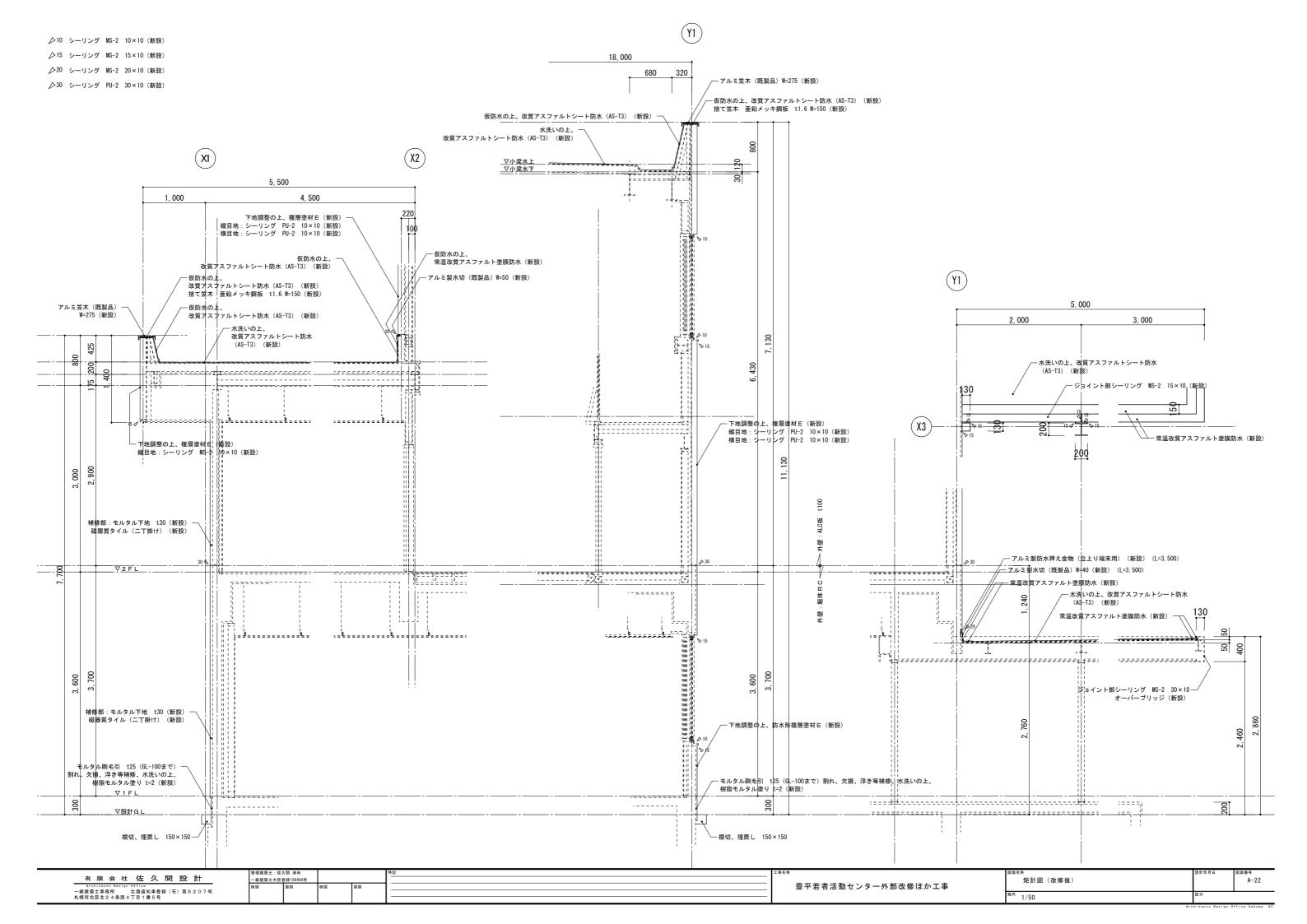
東面立面図

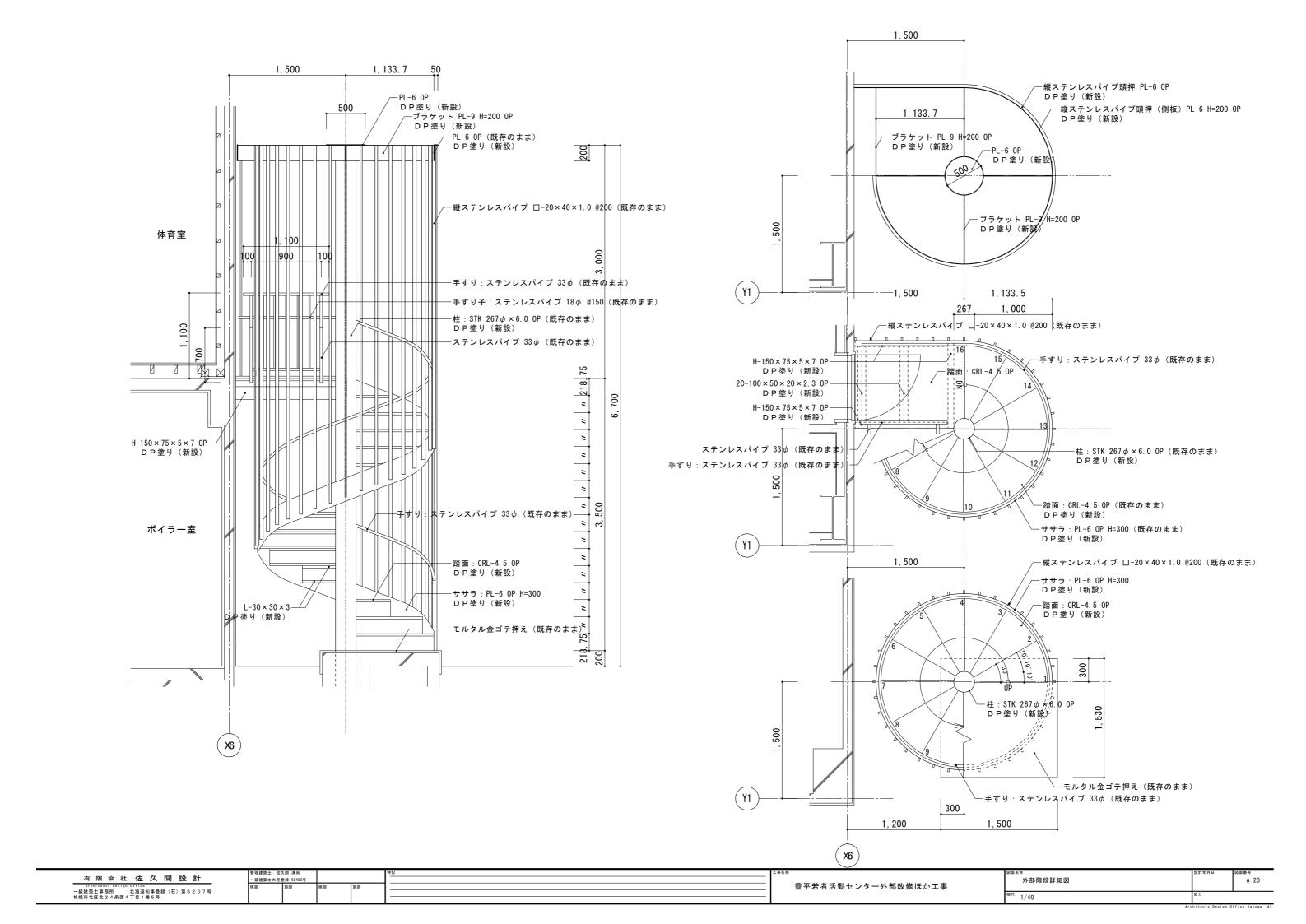
	記号	現 況	改修概要	記号	現 況	改修概要
	~ m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法	☐ a	欠損部充填 (100×100)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
躯	m	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満) (横割れ)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	b Z	欠損部充填 (100×200)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
体 R	`^ m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法	Ö	欠損部充填 (100×500)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
C 部				Ĭ	欠損部充填 (100×1000)	脆弱部撤去の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
+	//// m²	モルタル浮き	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	⊠ A	鉄筋等爆裂 (100×100)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
煙				⊠B	鉄筋等爆裂 (100×200)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
部	₩ 枚	タイル割れ(二丁掛)	タイル張替	S N	鉄筋等爆裂 (100×500)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填
	枚	タイル浮き (二丁掛)	タイル張替		鉄筋等爆裂 (100×1000)	脆弱部撤去、露筋部防錆処理の上 ポリマーセメント系樹脂モルタル充填

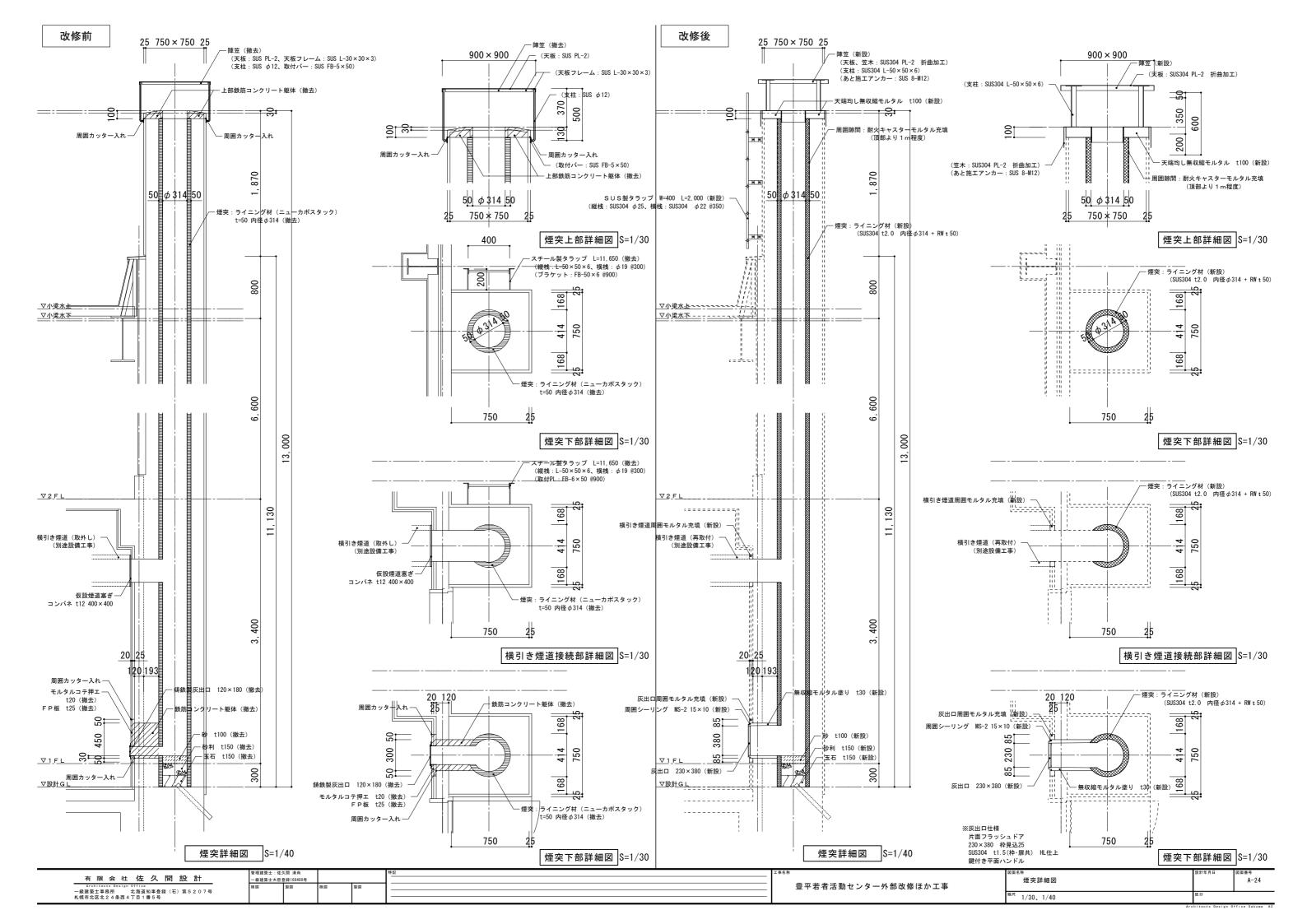
	記号	現 況	改修概要
	<u></u>	ひび割れ(幅0.2mm以上1.0mm未満)	Uカットシール充填工法
	'^\ m	ひび割れ(幅1.0mm以上)	Uカットシール充填工法
A			
Ĺ	☐ a	欠損部充填 (100×100)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
板	□ b	欠損部充填 (100×200)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
部		欠損部充填 (100×500)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填
		欠損部充填 (100×1000)	脆弱部撤去の上、ALC補修材充填

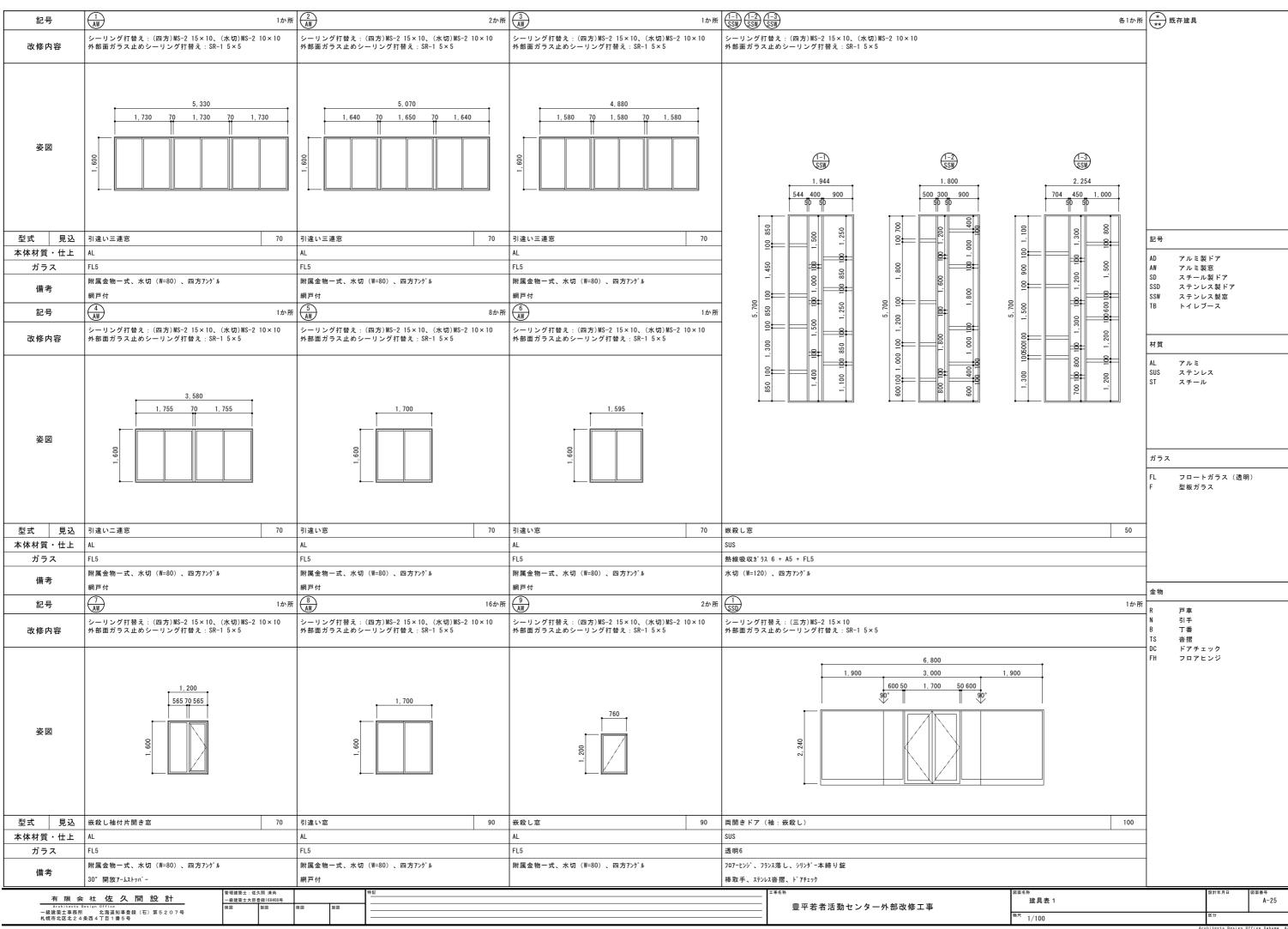
	管理建築士:	佐久間 清尚			特記	工事名称	図面名称	設計年月日	図面番号
有限会社 佐久間設計	一級建築士大	臣登録168408号	- 1				外壁調査図 4		A-20
Architects Design Office	検図	製図	検図	製図		豊平若者活動センター外部改修ほか工事			
一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 札幌市北区北24条西4丁目1番5号		1	- 1				箱尺 1/40	区分	
札幌市北区北24宋四4J日1番5号							1/40		
								and the same of the same	office Column 13

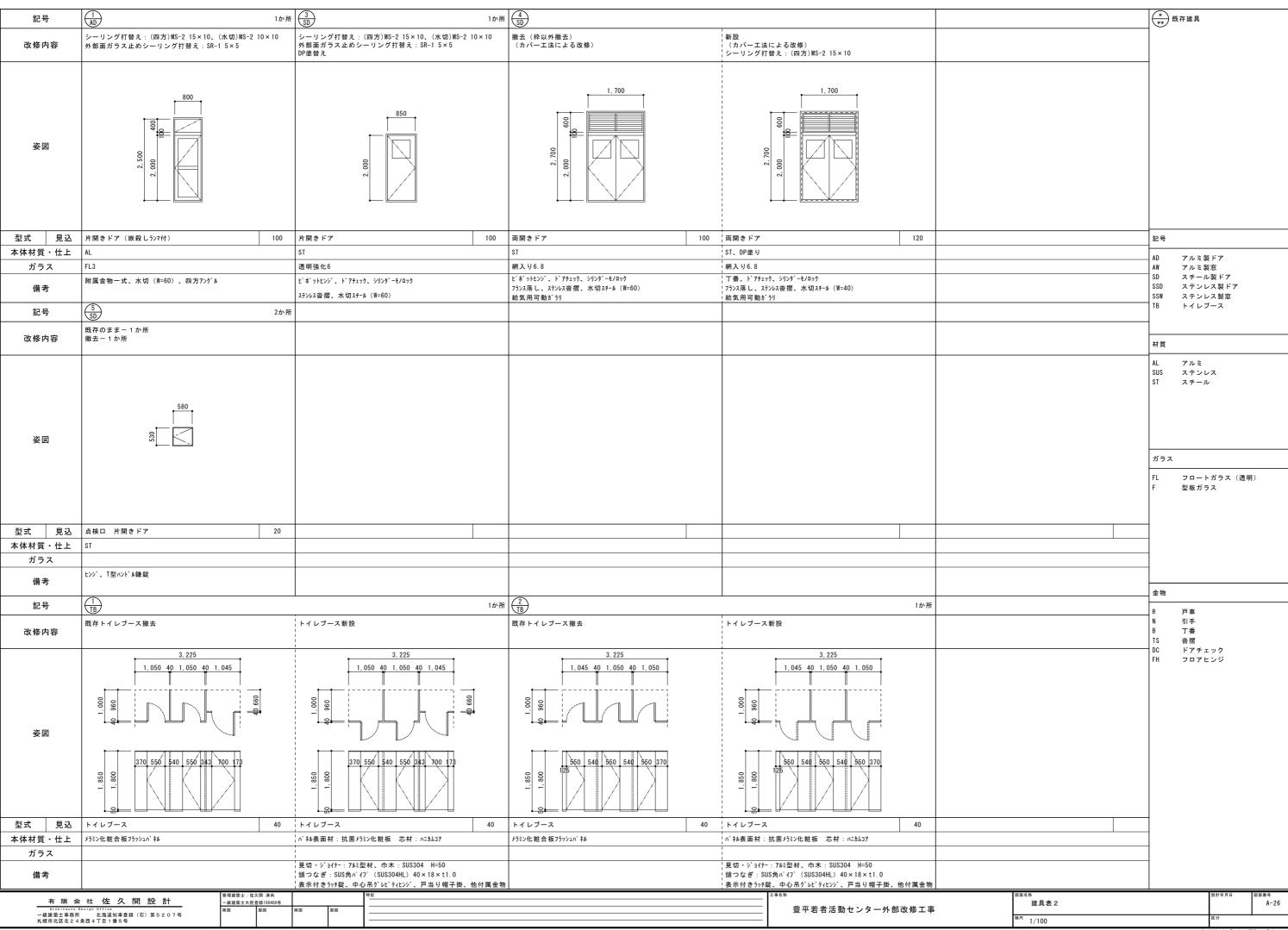


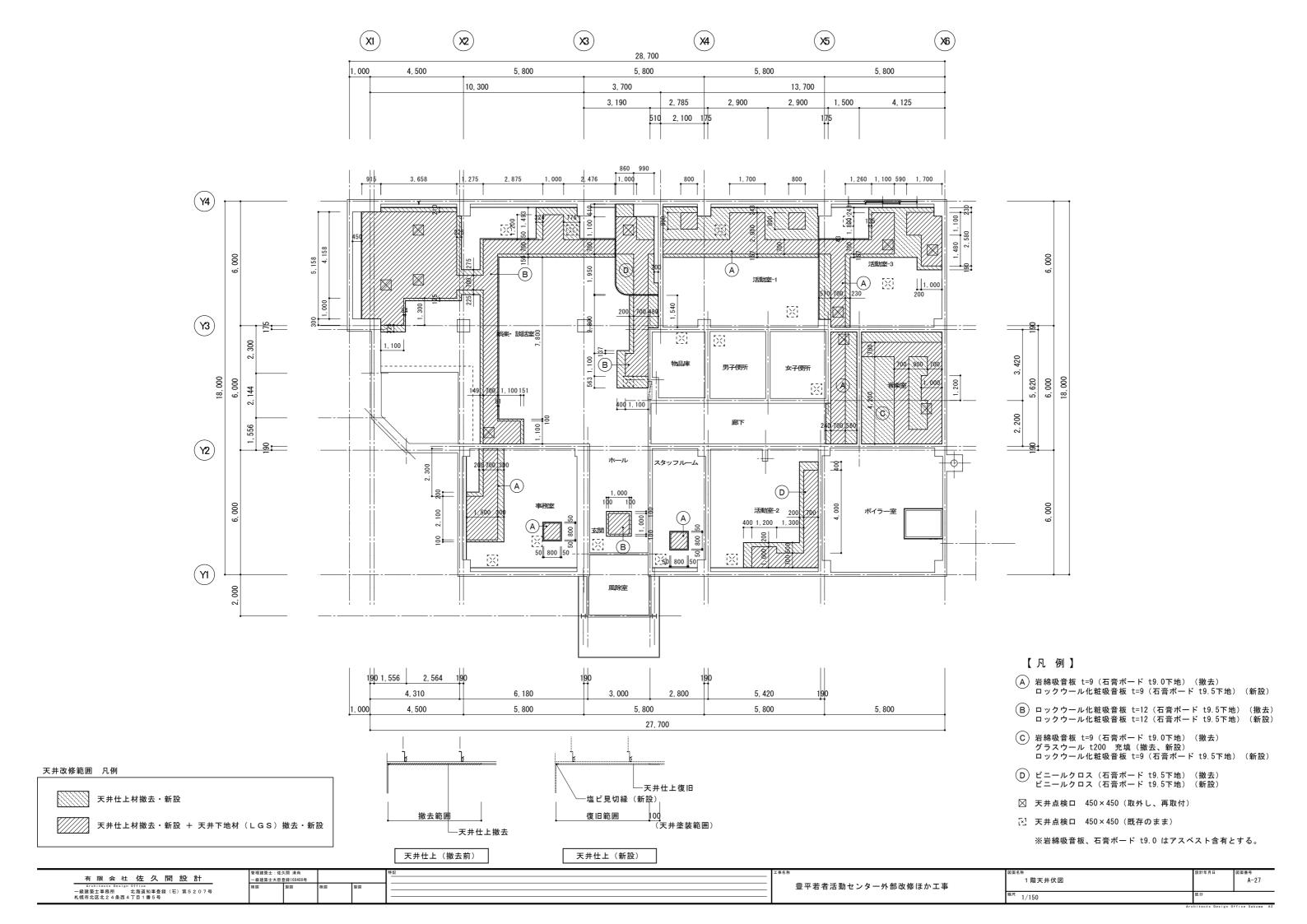


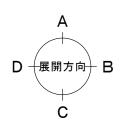


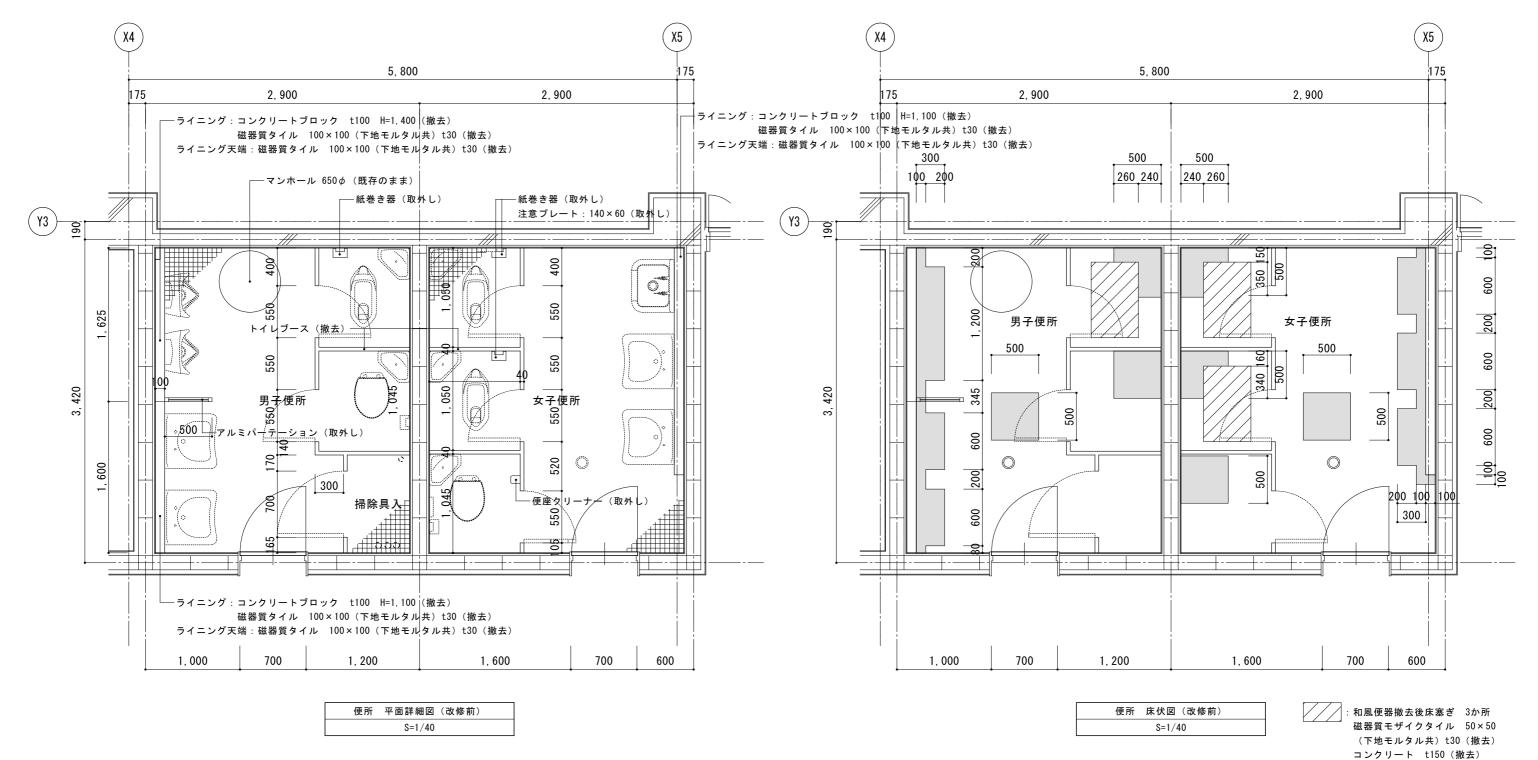












※モルタルはアスベスト含有とする。

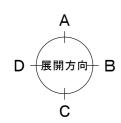
磁器質モザイクタイル 50×50 (下地モルタル共) t30 (撤去)

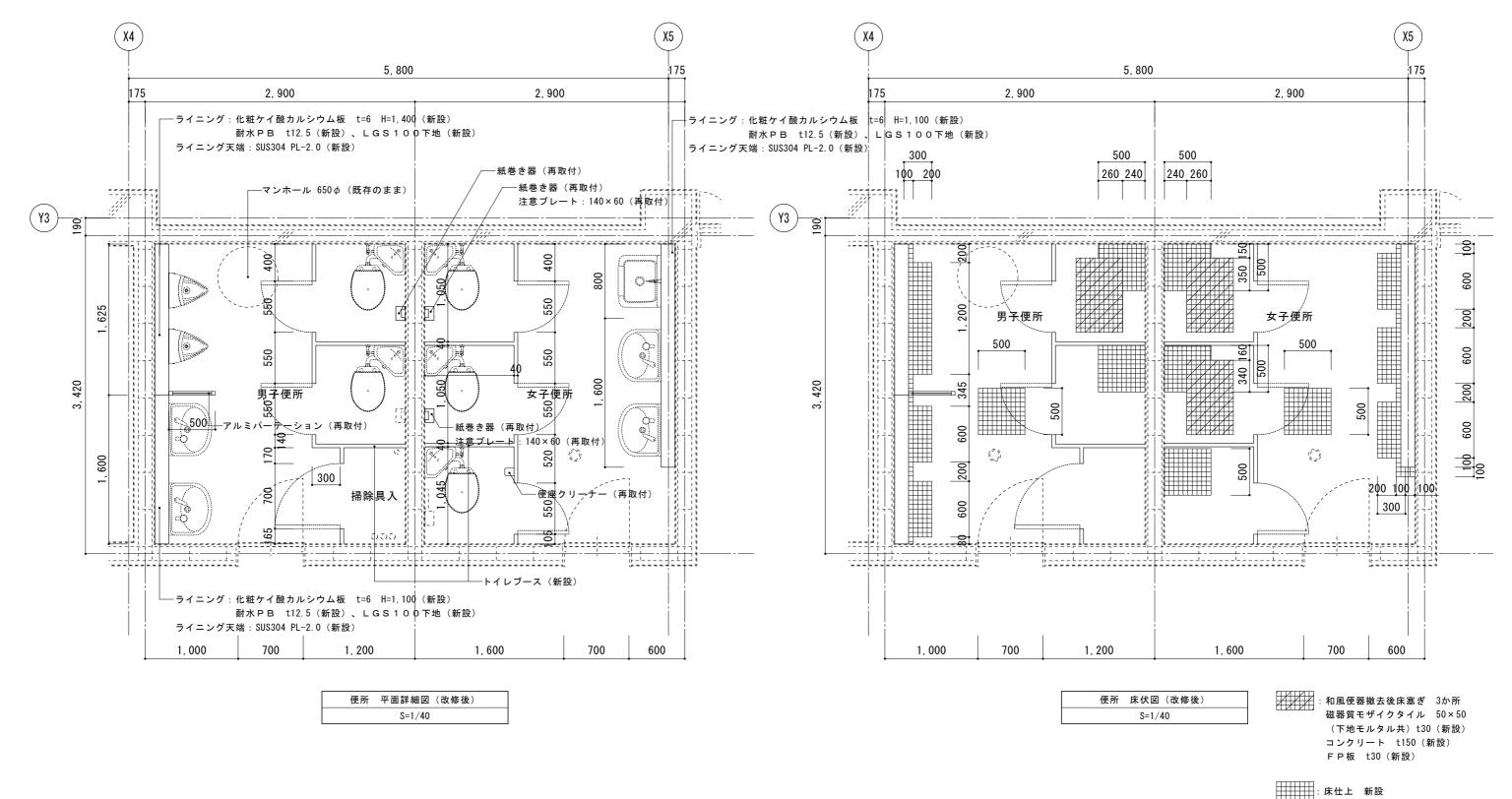
FP板 t30 (撤去) 周囲カッター入れ

床仕上 撤去

周囲カッター入れ

有限会社 佐久間設計 Architects Design Office -級建業士大臣登録164/06号 -級建業士大臣登録164/06号 機関 製図 規図 規図 規図 規図 規図 規図 規図 規図 規図		管理建築士:	佐久間 清尚			特記	工事名称	図面名称	設計年月日	図面番号
Architests Design Office - 級建築士等所 北海道和警録(石)第5207号	有限会社佐久間設計	一級建築士大	臣登録168408号	1				便所平面詳細図・床伏図(改修前)	1	A-28
一破鐘架主事務所		検図	製図	検図	製図		豊平若者活動センター外部改修ほか工事		1	
1/40	一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号	1		1				箱尺 1/40	区分	
	礼院市北区北24余四4月日1番5号							1/40		





有限会社 佐久間設計	管理建築士: 依 一級建築士大日	生久間 清尚 5登録168408号			#E		^{図面名称} 便所平面詳細図・床伏図(改修後)	設計年月日	図面番号 A-29
Architects Design Office	検図	製図	検図	製図		豊平若者活動センター外部改修ほか工事		1	
一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第5207号 札幌市北区北24条西4丁目1番5号							^{縮尺} 1/40	区分	

磁器質モザイクタイル 50×50 (下地モルタル共) t30 (新設)

